

平成 29 年度
西成区民意識調査(区民モニターアンケート)
報告書



スーパーボンボコジャガビー

にしなりくん

平成 30 年 2 月
大阪市西成区役所

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 回収状況	1
4. 報告書の見方	1

II 調査の結果

1. 回答者の属性	2
(1) 回答者の性別	2
(2) 回答者の年齢	2
(3) 回答者の居住地	3
(4) 回答者の居住年数	4
(5) 回答者の子育て状況	4
2. 「広報・魅力発信」について	5
問1 区役所の情報入手先	5
問2 広報紙「にしなり我が町」の読書度	6
問3 魅力発信の取組み	8
問4 西成区のイメージ	9
3. 「地域活動」について	10
問5 地域のまちづくり活動	10
問6 地域活動の相談相手・相談窓口の認知度	11
問7 コミュニティ育成事業の認知度	12
4. 「防犯・防災」について	13
問8 交通ルール・マナーに関する意識	13
問9 安全なまちの認識	14
問10 災害への備え	15
5. 「子育て・教育」について	17
問11 子育て環境の充実度	17
問12 健全な育成に必要なこと	20
問13 子どもの遊び場の確保状況	21
問14 小中学校の基礎学力の向上策	22
問15 子育て情報の入手先	23
6. 「福祉」について	24
問16 高齢者や障がい者の相談窓口の認知度	24
7. 「人権・生涯学習」について	26
問17 人権に関する関心度	26
問18 人権意識の高まりの認識	27
問19 生涯学習関連の認知度	28

8. 「西成特区構想」について	29
問 20 西成特区構想の認知度	29
問 21 あいりん地域の環境改善	31
9. 「健康づくり」について	34
問 22 喫煙の状況	34
問 23 飲酒の状況	35
問 24 定期的な運動.....	36
問 25 区役所等での無料結核健診の認知度.....	37
問 26 健康診断等の受診状況.....	38
10. 「在宅医療」について	41
問 27 医療や介護サービスの相談相手.....	41
問 28 在宅医療サービスの認知度.....	42
問 29 医療と介護が必要な場合の生活の場.....	43
問 30 人生の最期を過ごしたい場所	46

I 調査の概要

1. 調査の目的

西成区は、人情味があふれ、古い歴史を有するなど魅力あふれる個性豊かなまちである。

しかしながら、少子高齢化やあいりん地域などの様々な課題を抱えており、それらを解決するためには、24区一律の施策ではなく、西成区に特に有効な施策を検討し実施・推進する「西成特区構想」をはじめとする様々な施策を進めていく必要がある。

そこで、区役所が取り組んでいる事業などについてのご意見やお考えをおたずねし、今後のまちづくり施策や事業を進めるうえで、参考資料とするため、区民意識調査（区民モニターアンケート調査）を実施する。

2. 調査の方法

- (1) 調査対象 住民基本台帳及び外国人登録データから無作為に抽出した 18 歳以上の区民
- (2) 調査方法 郵送配布、郵送回収
- (3) 調査期間 平成 30 年 1 月 12 日（金）～1 月 30 日（火）

3. 回収状況

- (1) 対象者数 1,500 名
- (2) 発送数 1,438 名（あて先不明等で 62 名未到達）
- (3) 有効回収数 462 票
- (4) 回収率 30.8%（対象者数に対する有効回収率）
32.1%（発送数に対する有効回収率）

4. 報告書の見方

- (1) 集計結果は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入しており、回答比率の合計が 100%と
ならないことがある。
- (2) 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が 100%を超える。
- (3) %は、その質問の回答数（全体など）を母数として算出している。
- (4) 本文中、表やグラフに次にあげるような表示がある場合、複数回答を依頼した質問である。

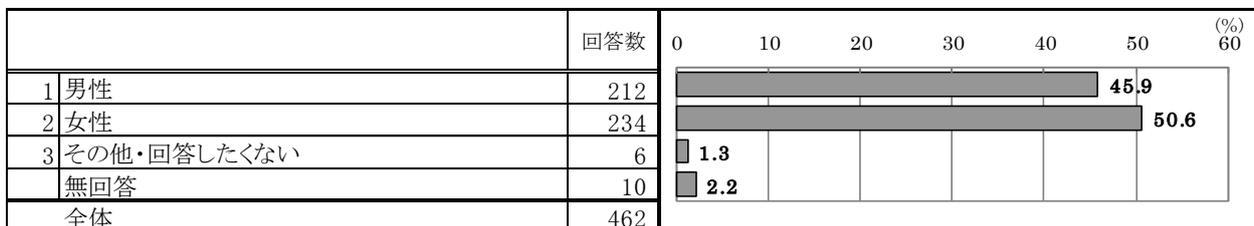
MA%（Multiple Answer）＝回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合

- (5) 「全体」は有効回答 462 票であり、「該当数」は回答が限られた場合の合計である。
- (6) 本文中のグラフなどにおいて、長い文となる選択肢は簡略化している場合がある。
- (7) 年齢別については、年齢ごとの回答数が少ないため、参考として表示している。
- (8) 回答結果が 0.0%の場合、グラフにおいて、その表示を省略している場合がある。

II 調査の結果

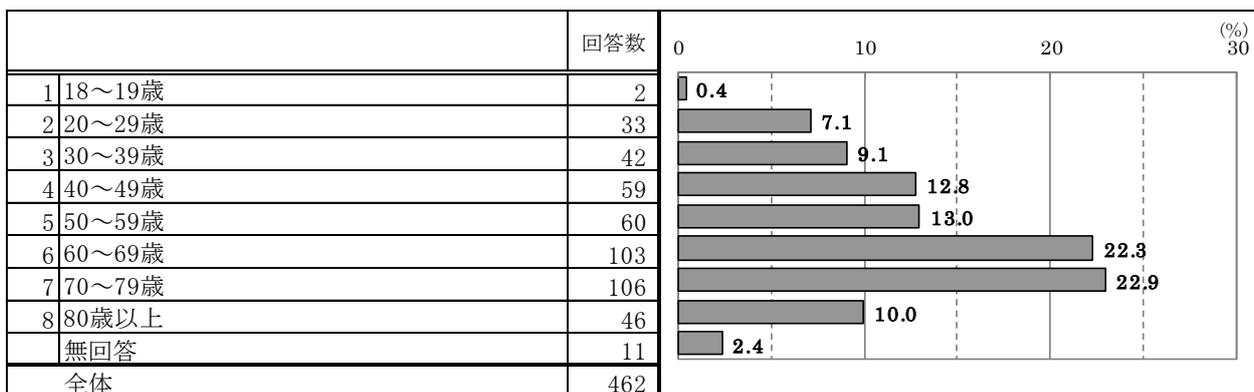
1. 回答者の属性

(1) 回答者の性別



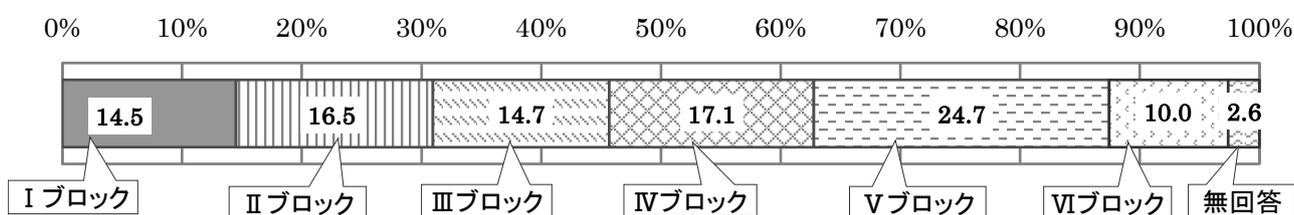
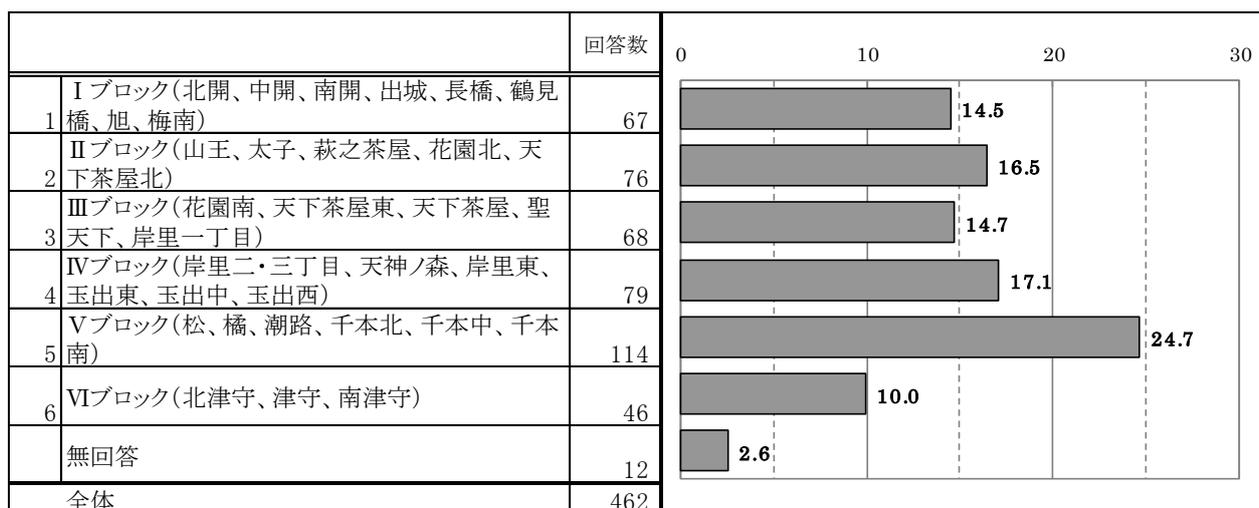
回答者の性別は、「男性」が 45.9%、「女性」が 50.6%となっている。

(2) 回答者の年齢



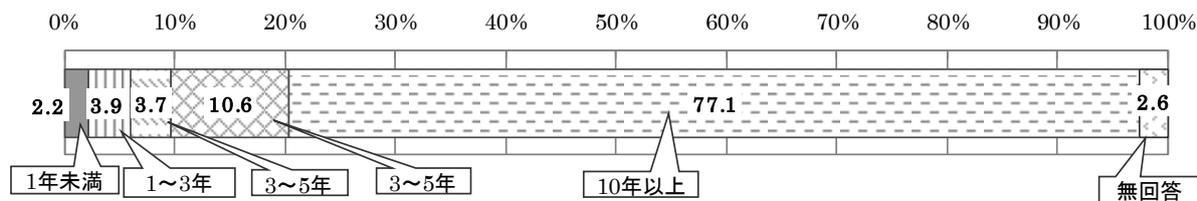
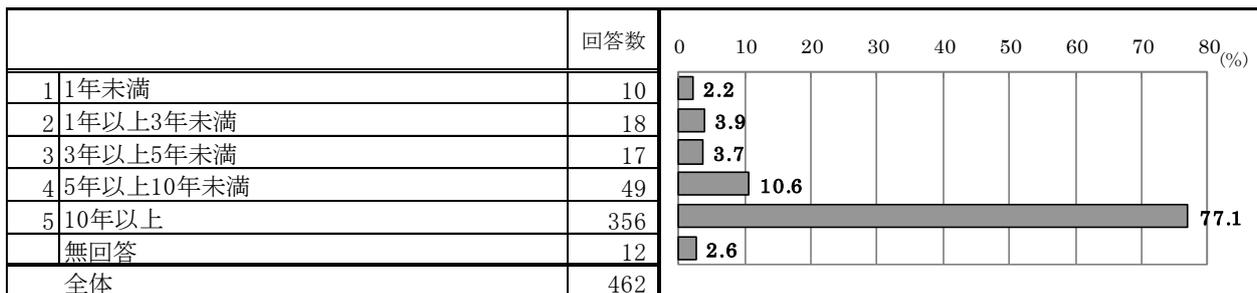
回答者の年齢は、「70歳代」が 22.9%と最も多く、次いで「60歳代」が 22.3%、「50歳代」が 13.0%、「40歳代」が 12.8%となっている。

(3) 回答者の居住地



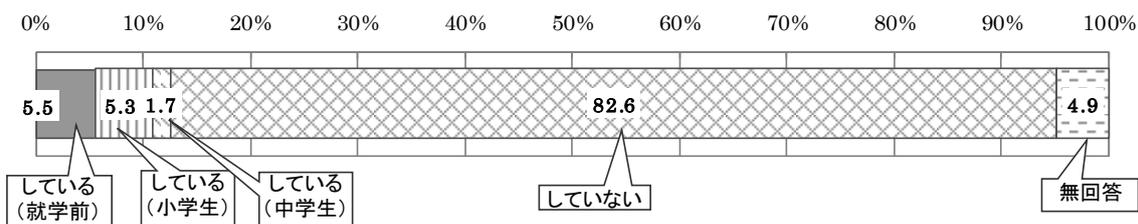
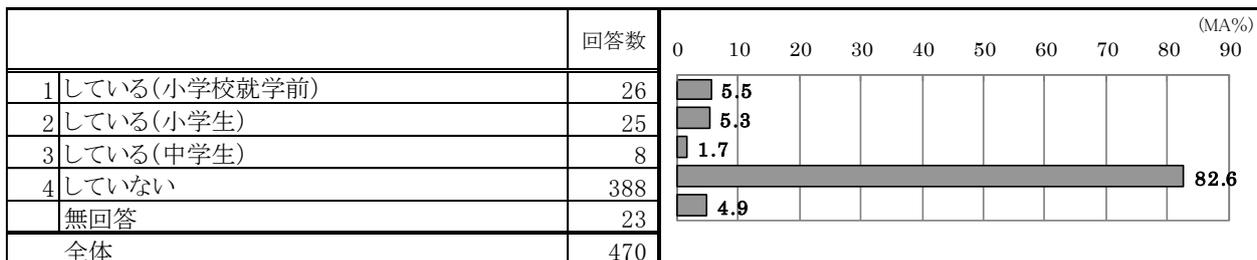
回答者の居住地(ブロック)は、Vブロックが24.7%と最も多く、次いでIVブロックが17.1%、IIブロックが16.5%、IIIブロックが14.7%、Iブロックが14.5%、VIブロックが10.0%となっている。

(4) 回答者の居住年数



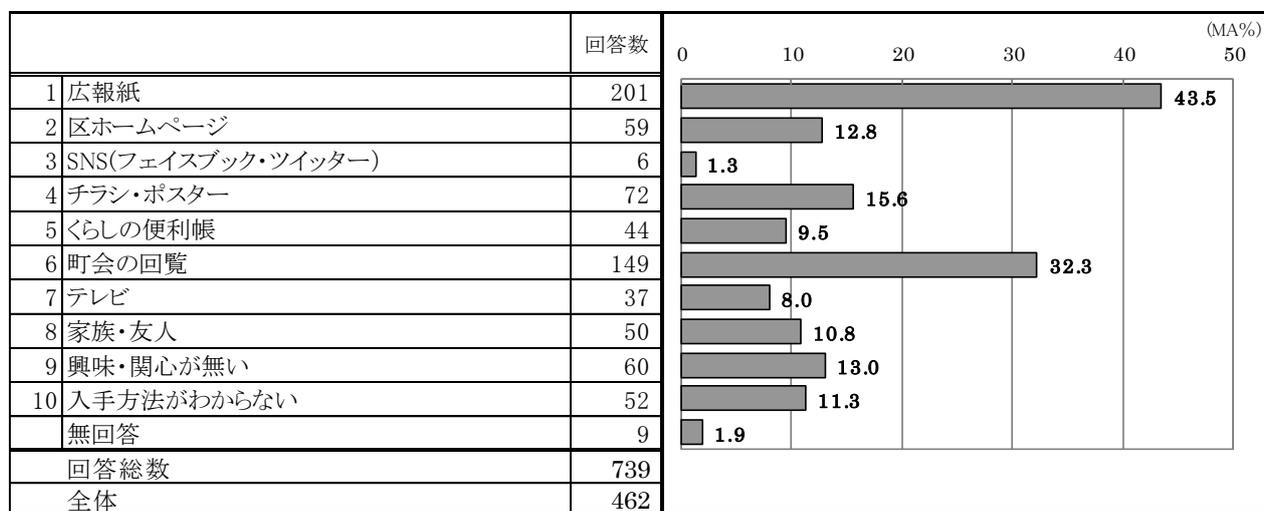
回答者の通算した西成区での居住年数は、「10年以上」が77.1%と7割を超えている。

(5) 回答者の子育て状況(中学生以下のお子さまの子育て)【複数回答】



2. 「広報・魅力発信」について

問1 区役所の情報入手先 あなたは普段、区役所の情報をどこから入手しますか？
【複数回答】

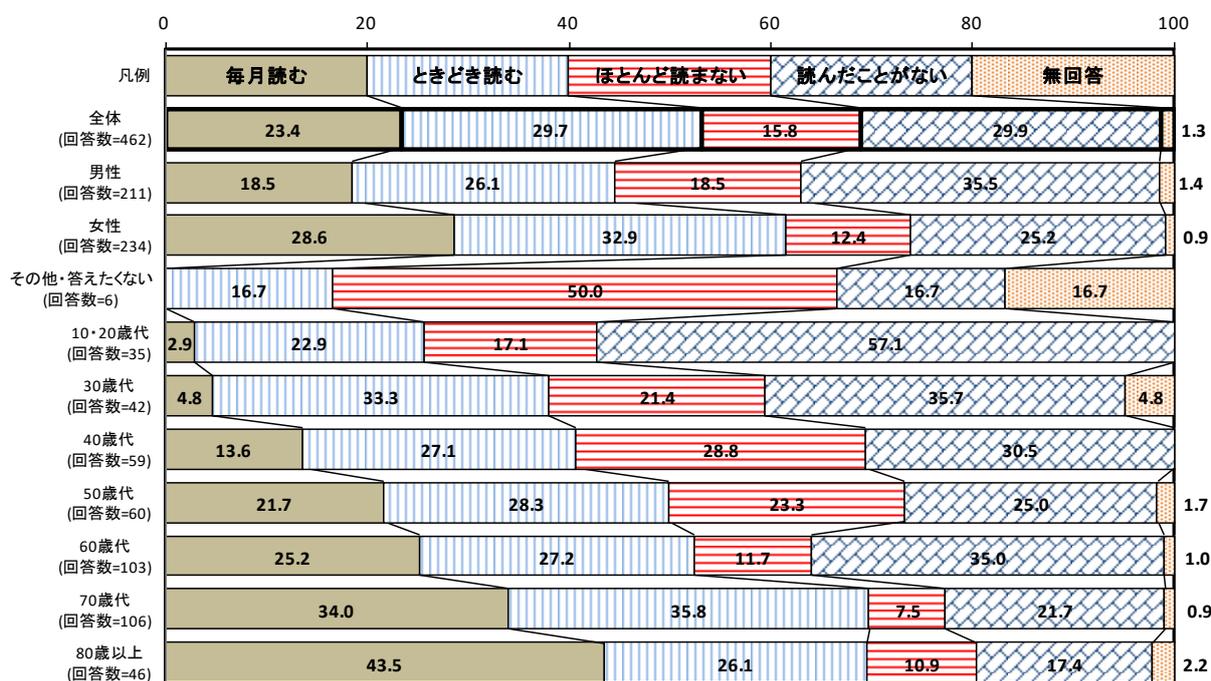


「広報紙」が43.5%と4割を超えており、次いで、「町会の回覧」32.3%、「チラシ・ポスター」15.6%、「区ホームページ」12.8%となっている。

一方、「興味・関心が無い」が13.0%となっている。

問2 広報紙「にしなり我が町」の読書度 あなたは、西成区の広報紙である「にしなり我が町」をお読みにになりますか？

	回答数	(%)
1 毎月読む	108	23.4
2 ときどき読む	137	29.7
3 ほとんど読まない	73	15.8
4 読んだことがない	138	29.9
無回答	6	1.3
全体	462	



「ときどき読む」が29.7%、「毎月読む」が23.4%と合せて53.1%の区民が読んで知る。一方、「読んだことがない」が29.9%と最も多くなっており、「ほとんど読まない」と合せると45.7%となっている。

男女別にみると、『男性』は「毎月読む」が18.5%、「ときどき読む」が26.1%、『女性』は「毎月読む」が28.6%、「ときどき読む」が32.9%となっている。

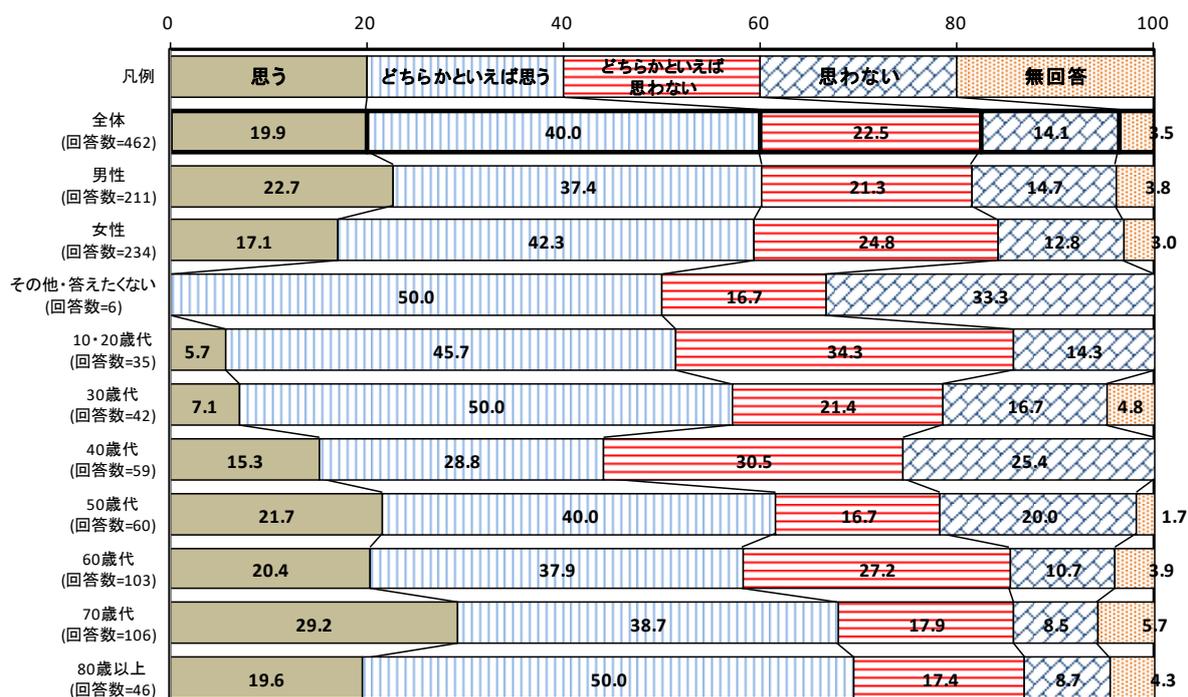
問2-1 紙面の感想（問2で「毎月読む」「ときどき読む」と回答の方のみ） 「にしなり我が町」の紙面についてどのように思いますか？【複数回答】

	回答数	(MA%)
1 記事の内容及びわかりやすい	148	60.4
2 記事の内容及びわかりにくい	16	6.5
3 文字の大きさ・量が適切である	120	49.0
4 文字の大きさ・量が適切でない	9	3.7
5 写真・イラスト・色づかいが見やすい	43	17.6
6 写真・イラスト・色づかいが見づらい	10	4.1
無回答	12	4.9
回答総数	358	
該当数	245	
非該当	217	
全体	462	

「記事の内容及びわかりやすい」が60.4%と最も多く、次いで、「文字の大きさ・量が適切である」49.0%、「写真・イラスト・色づかいが見やすい」17.6%となっている。

問3 魅力発信の取組み 区役所では、観光マップやホームページ等を用いて、西成区の歴史や文化などの魅力を発信していますが、このような取組みがまちの活性化につながっていると思いますか？

	回答数	0	10	20	30	40	50	(%)	
1 思う	92	19.9							
2 どちらかといえば思う	185	40.0							
3 どちらかといえば思わない	104	22.5							
4 思わない	65	14.1							
無回答	16	3.5							
全体	462								

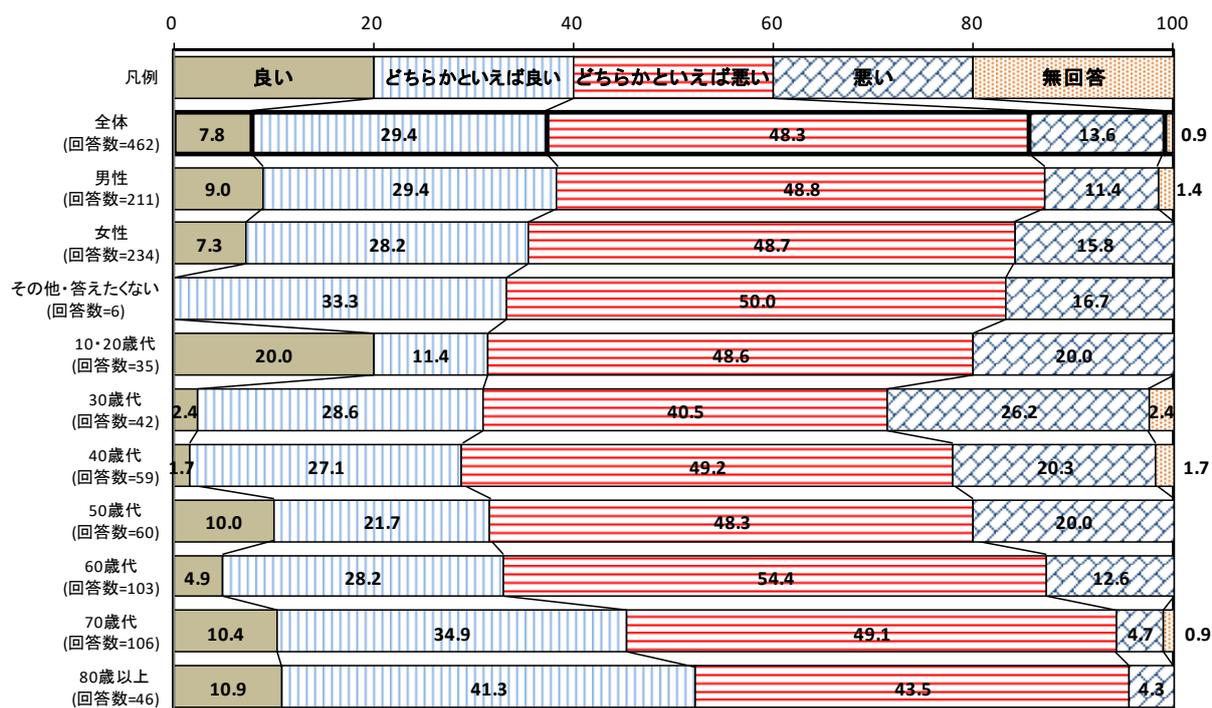


全体では、「思う」19.9%、「どちらかといえば思う」40.0%と、合せて“思う”が59.9%と半数以上になっている。

男女別にみると、“思う”は『男性』が60.1%であり、『女性』は59.4%となっている。

問4 西成区のイメージ あなたが持っている西成区のイメージはどれに近いですか？

	回答数	0	10	20	30	40	50	(%)	
1 良い	36	7.8							
2 どちらかといえば良い	136	29.4							
3 どちらかといえば悪い	223	48.3							
4 悪い	63	13.6							
無回答	4	0.9							
全体	462								

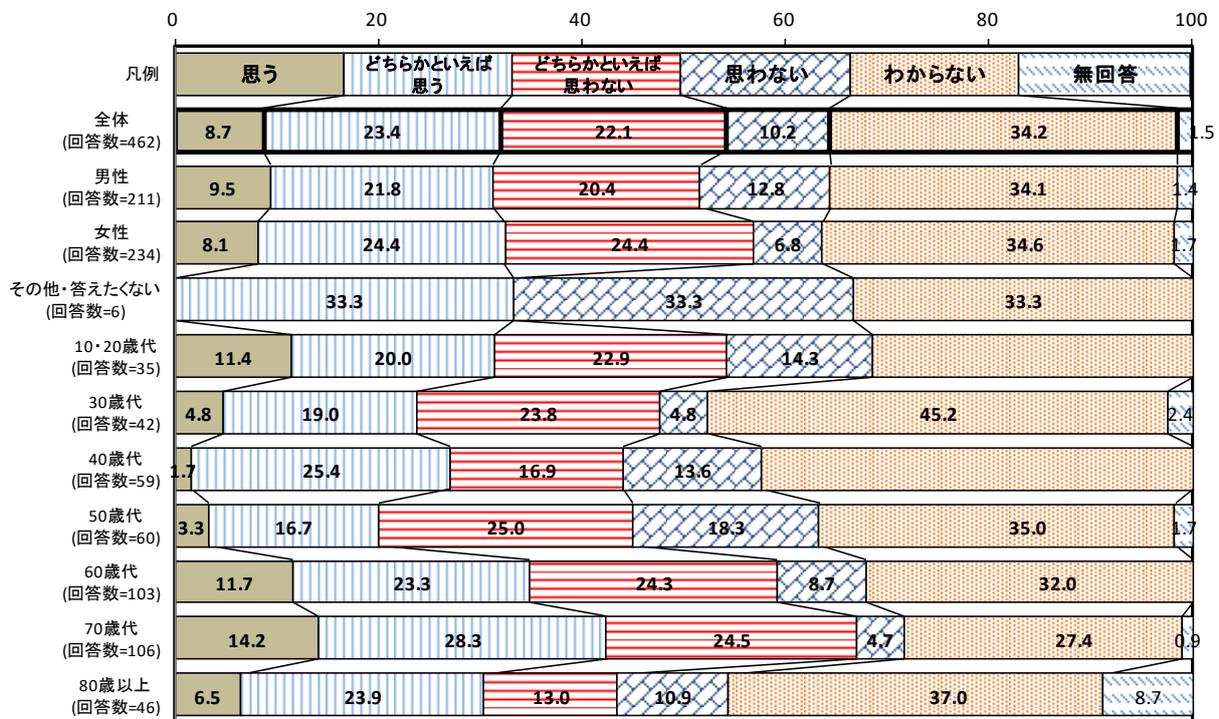
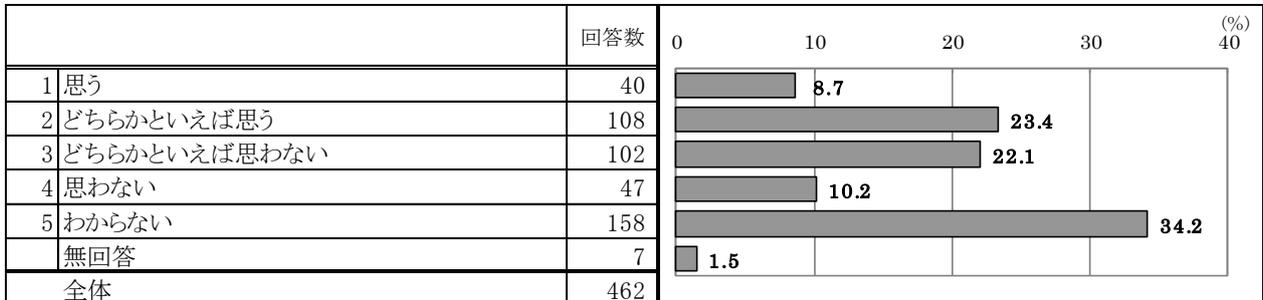


全体では、「良い」が7.8%、「どちらかといえば良い」が29.4%、合せて“良い”が37.2%、一方、「どちらかといえば悪い」が48.3%、「悪い」が13.6%、合せて“悪い”が61.9%となっている。

男女別では、『男性』の“良い”が38.4%、“悪い”が60.2%、『女性』の“良い”が35.5%、“悪い”が64.5%となっている。

3. 「地域活動」について

問5 地域のまちづくり活動 あなたは、地域のまちづくりに関する活動が、地域団体や NPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると思いますか？

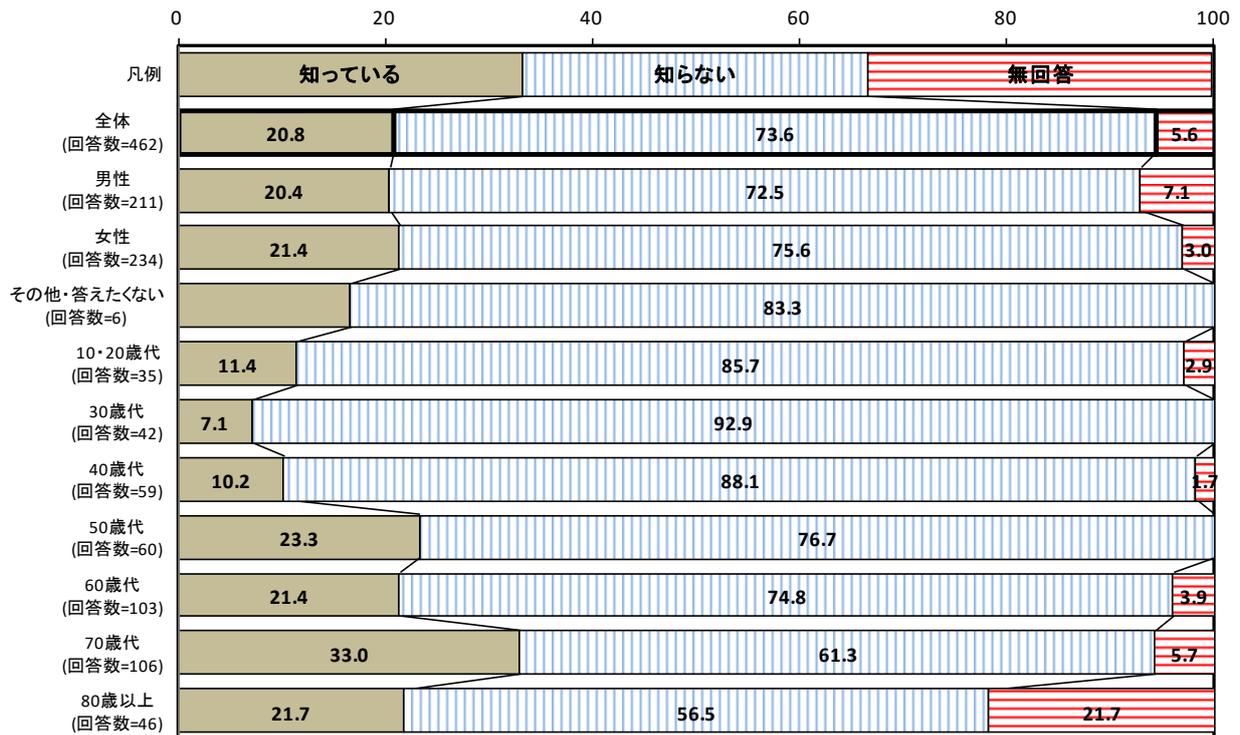


地域のまちづくりに関する活動が、地域団体や NPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると「思う」が 8.7%、「どちらかといえば思う」が 23.4%、合せて“思う”が 32.1%となっている。

男女別にみると、“思う”は『男性』が 31.3%、『女性』が 32.5%となっている。

問6 地域活動の相談相手・相談窓口の認知度 あなたは、地域活動に関わってみたいと思ったときに、相談相手や相談窓口を知っていますか？

	回答数	0	20	40	60	80	(%)	
1 知っている	96	[Bar chart showing 20.8%]						20.8
2 知らない	340	[Bar chart showing 73.6%]						73.6
無回答	26	[Bar chart showing 5.6%]						5.6
全体	462							



地域活動の相談相手や相談窓口を「知っている」が20.8%、「知らない」が73.6%となっている。

男女別にみると、『男性』は「知っている」が20.4%、「知らない」が72.5%となっている。また、『女性』は、「知っている」が21.4%、「知らない」が75.6%となっている。

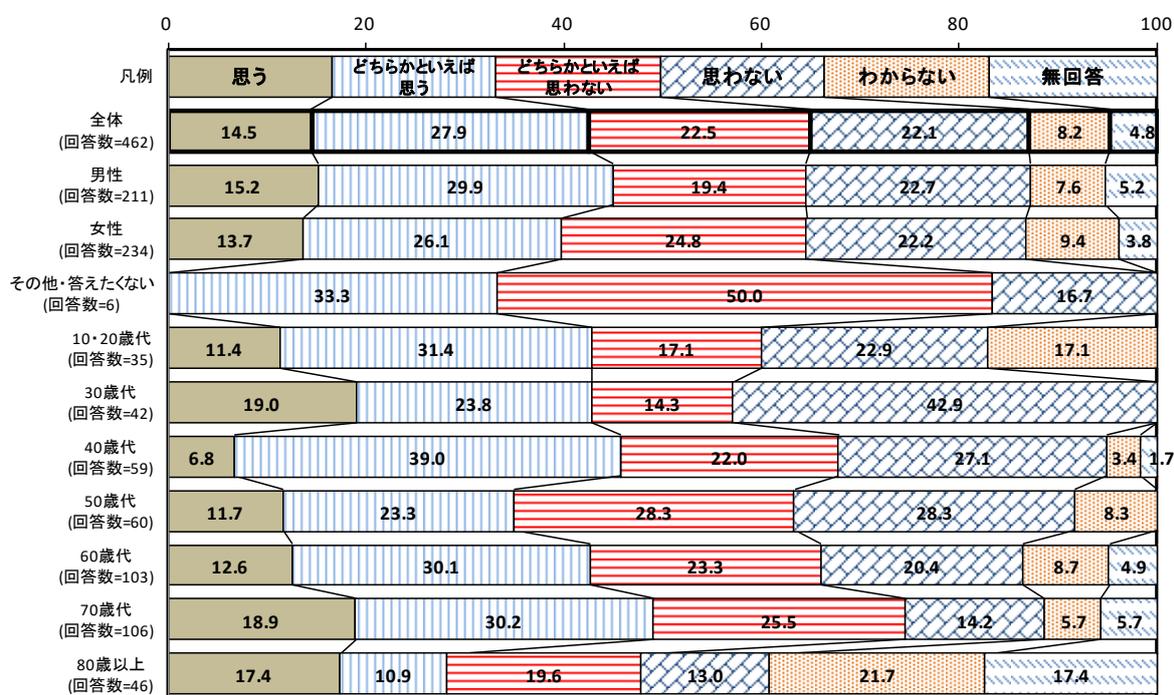
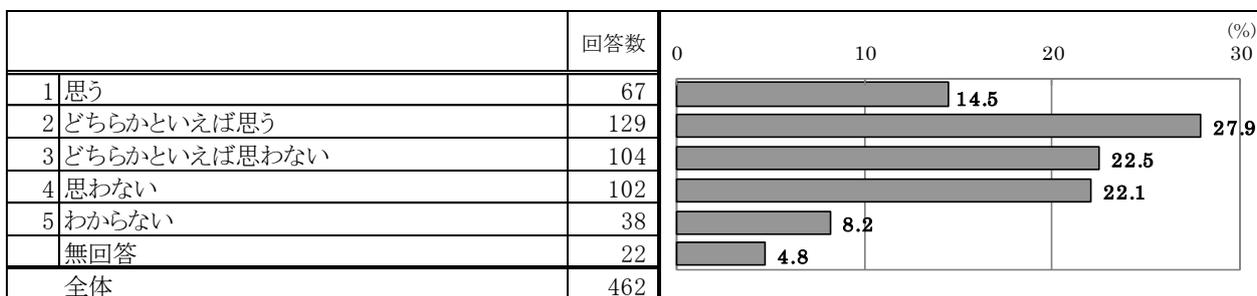
問7 コミュニティ育成事業の認知度 区役所ではコミュニティの育成を目的として次の事業を実施していますが、あなたが知っているものはありますか？【複数回答】

	回答数	(MA%)
1 区民まつり	335	72.5
2 区民体育レクリエーション大会	130	28.1
3 区民文化祭	94	20.3
4 あったかハートフェスティバル	44	9.5
5 西成寄席	90	19.5
6 人情マガジンにしなり	37	8.0
7 知っているものはない	91	19.7
無回答	22	4.8
回答総数	843	
全体	462	

コミュニティ育成を目的とした知っている事業（複数回答）は、「区民まつり」が72.5%と最も多く、次いで、「区民体育レクリエーション大会」28.1%、「区民文化祭」20.3%、「知っているものはない」19.7%「西成寄席」19.5%となっている。

4. 「防犯・防災」について

問8 交通ルール・マナーに関する意識 あなたは、交通ルール・マナーに関する意識が高まってきたと思いますか？

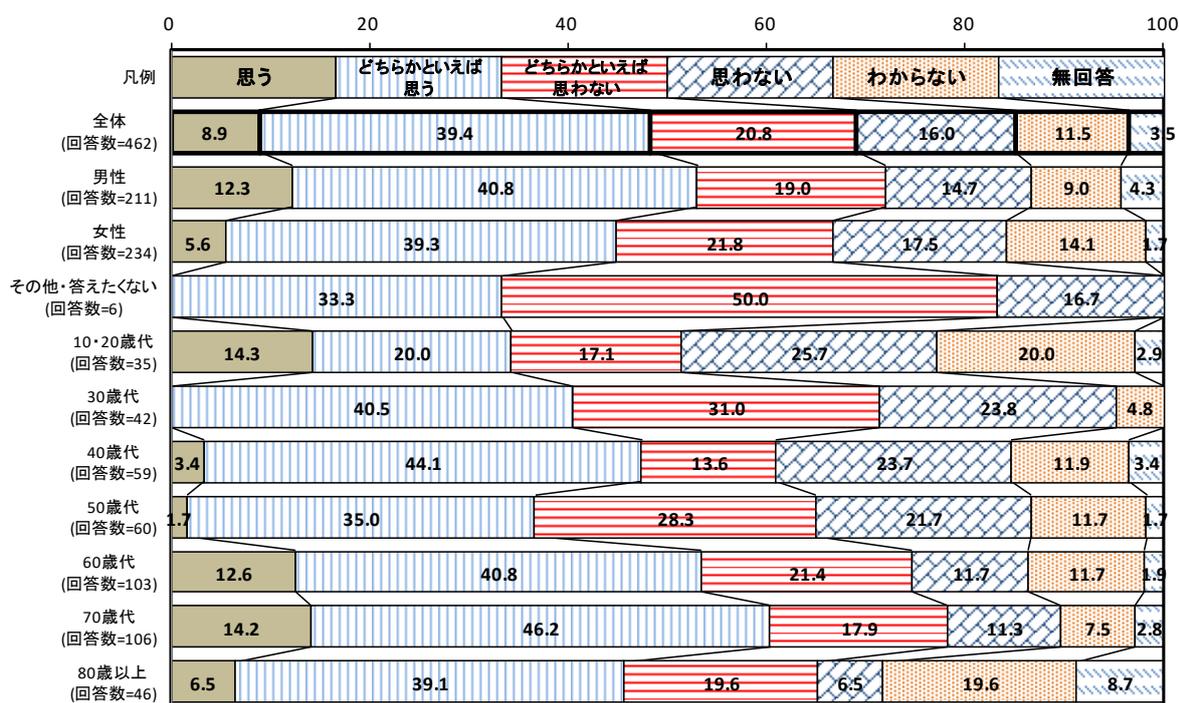
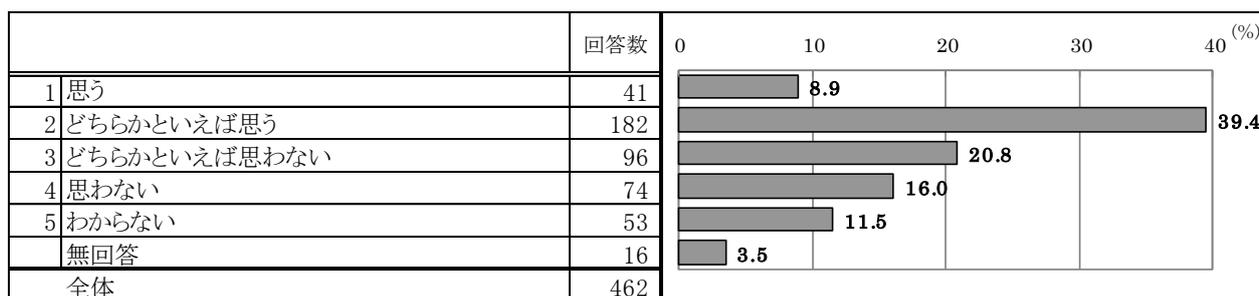


交通ルール・マナーに関する意識が高まってきたと「思う」が14.5%、「どちらかといえば思う」が27.9%、合せて“思う”が42.4%となっている。

「どちらかといえば思わない」が22.5%、「思わない」が22.1%、合せて“思わない”が44.6%となっている。

男女別にみると、『男性』の“思う”が45.1%、”思わない“が42.1%となっている。『女性』の”思う“が39.8%、”思わない“が47.0%となっている。

問9 安全なまちの認識 あなたは、西成区は安心安全なまちに変わってきたと思いますか？

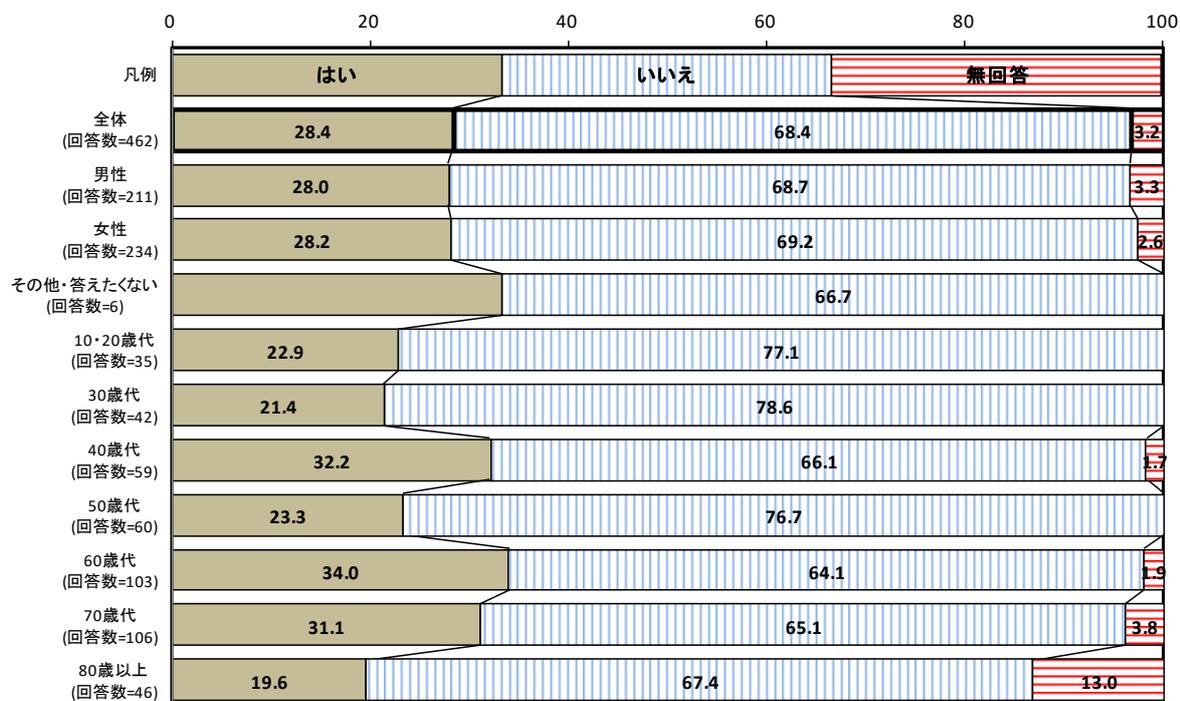


西成区が安心安全なまちに変わってきたと「思う」が8.9%、「どちらかといえば思う」が39.4%、合せて“思う”が48.3%となっている。

また、「どちらかといえば思わない」が20.8%、「思わない」が16.0%、合せて、“思わない”が36.8%となっている。

男女別にみると、『男性』の“思う”が53.1%、”思わない“が33.7%。『女性』の”思う“が44.9%、”思わない“が39.3%となっている。

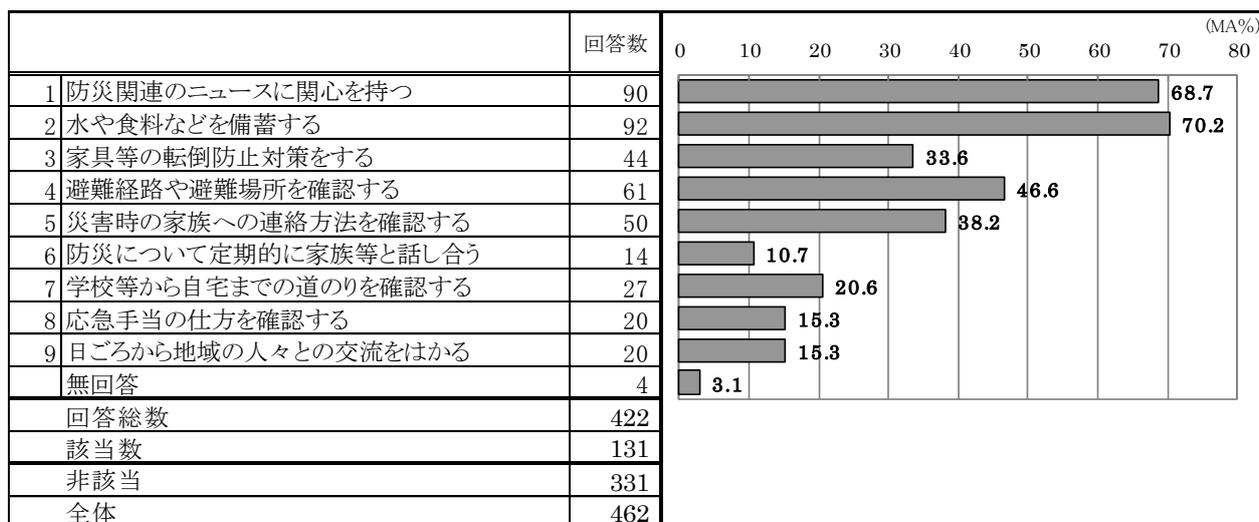
問 10 災害への備え あなたは、日頃から災害への備えができていますか？



日頃から災害への備えができていないかに関して、「はい」28.4%、「いいえ」が68.4%となっている。

男女別にみると、『男性』の「はい」が28.0%、「いいえ」が68.7%となっている。『女性』の「はい」が28.2%、「いいえ」が69.2%となっている。

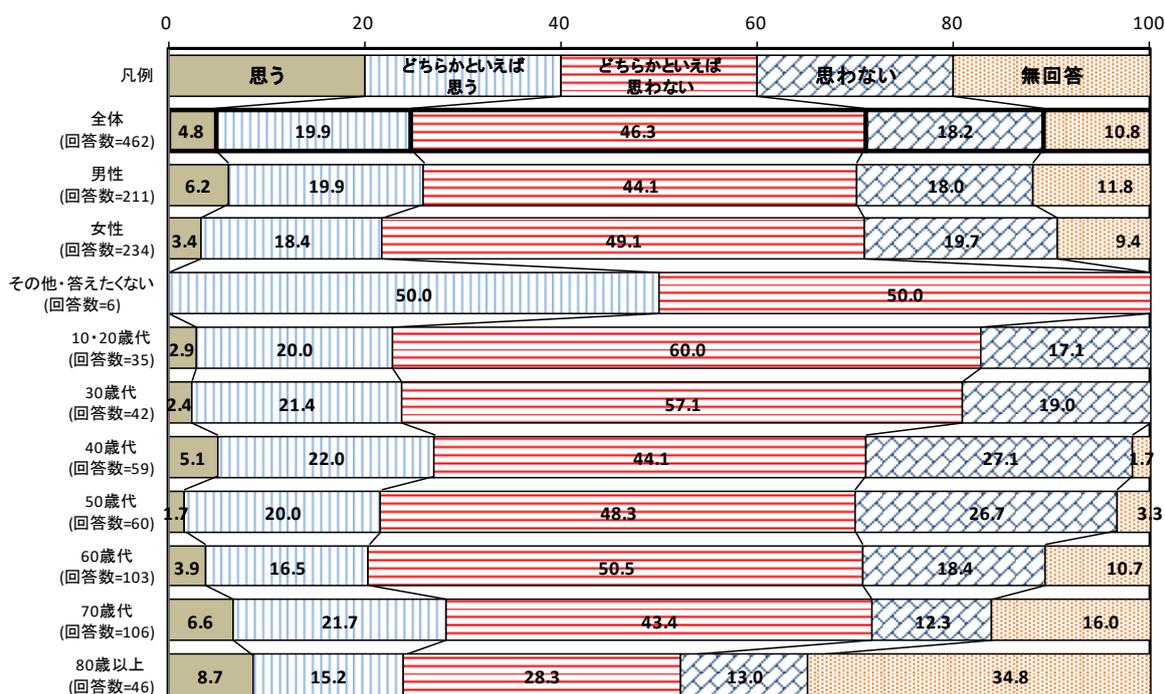
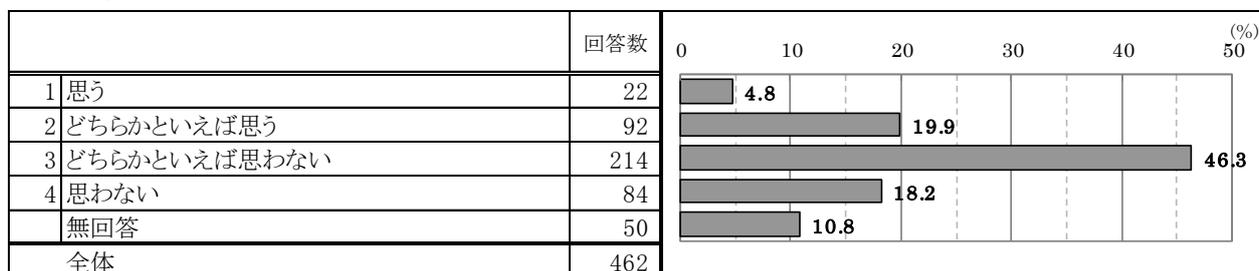
問 10-1 災害への対策（問 10 で「はい」と回答の方のみ）例えばどのような対策を取られていますか？【複数回答】



災害への対策（複数回答）は、「水や食料などを備蓄する」が 70.2%と最も多く、次いで「防災関連のニュースに関心を持つ」が 68.7%、「避難経路や避難場所を確認する」が 46.6%、「災害時の家族への連絡方法を確認する」が 38.2%となっている。

5. 「子育て・教育」について

問 11 子育て環境の充実度 あなたは、西成区は安心して子育てができる環境が充実していると思いますか？

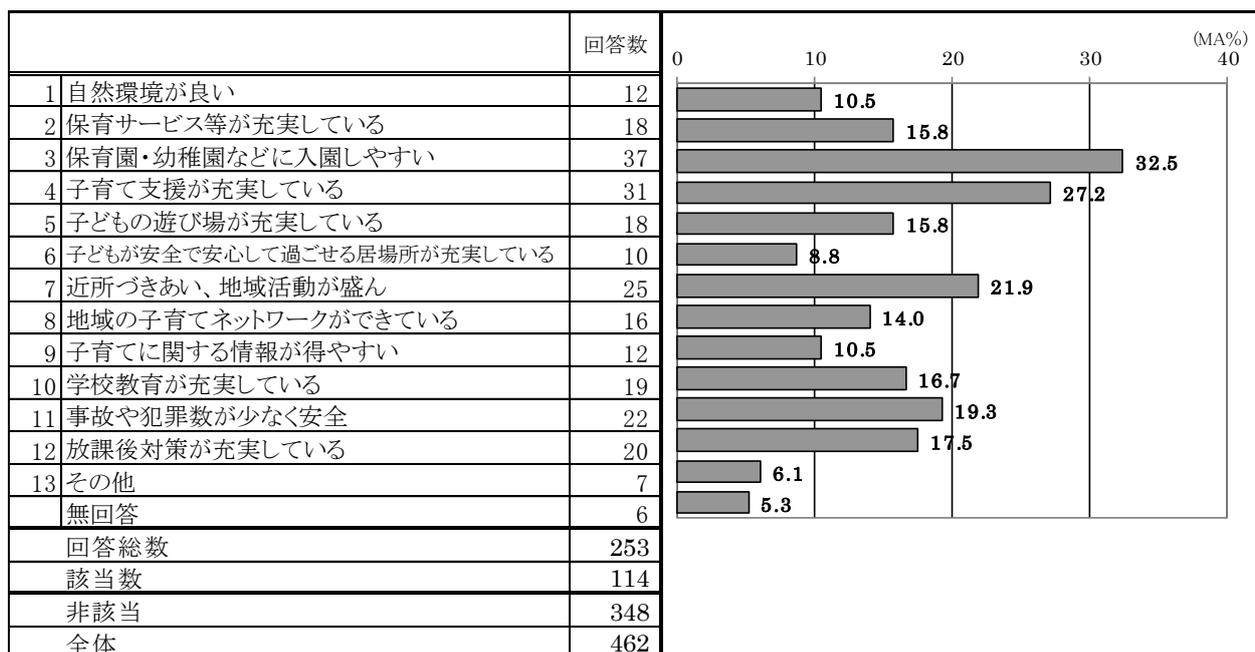


西成区は安心して子育てができる環境が充実していると思うが4.8%、「どちらかといえば思う」が19.9%、合せて「思う」が24.7%となっている。

「どちらかといえば思わない」が46.3%、「思わない」が18.2%、合せて「思わない」が64.5%となっている。

男女別にみると、『男性』は「思う」が26.1%、「思わない」が62.1%、『女性』は「思う」が21.8%、「思わない」が68.8%となっている。

問 11-1 子育て環境が充実している理由（問 11 で「思う」「どちらかといえば思う」と回答の方のみ） その理由は次のうちどれですか？【複数回答】



※「その他」の主な内容：生活がしやすい

子育て環境が充実している理由としては、「保育園・幼稚園などに入園しやすい」が 32.5% と最も多く、次いで、「子育て支援が充実している」が 27.2%、「近所づきあい、地域活動が盛ん」が 21.9%、「事故や犯罪数が少なく安全」が 19.3%となっている。

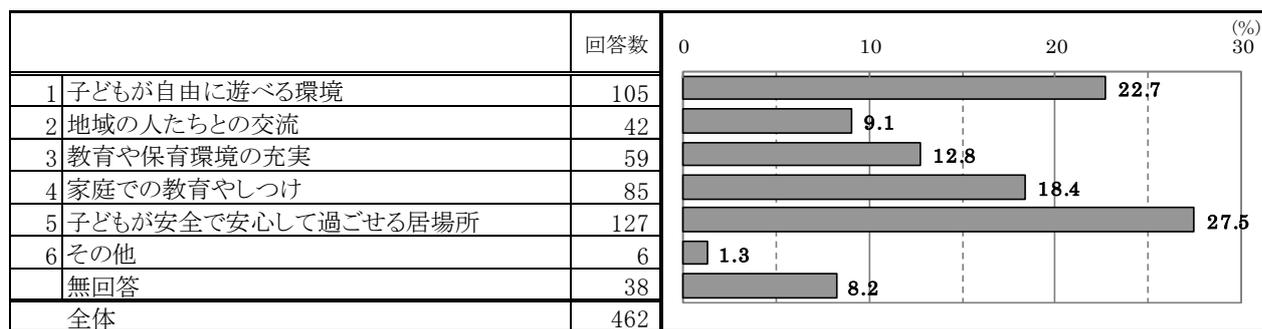
問 11-2 子育て環境が充実していない理由（問 11 で「どちらかといえば思わない」「思わない」と回答の方のみ） その理由は次のうちどれですか？【複数回答】

	回答数	0	10	20	30	40	50 (MA%)
1 自然環境が良くない	148	49.7					
2 保育サービス等が充実していない	30	10.1					
3 保育園・幼稚園などに入りにくい	36	12.1					
4 子育て支援が充実していない	47	15.8					
5 子どもの遊び場が少ない	139	46.6					
6 子どもが安心して過ごせる居場所が充実していない	132	44.3					
7 近所づきあい、地域活動が少ない	63	21.1					
8 地域の子育てネットワークが充実していない	23	7.7					
9 子育てに関する情報を取得しにくい	27	9.1					
10 学校教育が充実していない	30	10.1					
11 事故や犯罪の多さ	129	43.3					
12 放課後対策が充実していない	25	8.4					
13 その他	23	7.7					
無回答	29	9.7					
回答総数	881						
該当数	298						
非該当	164						
全体	462						

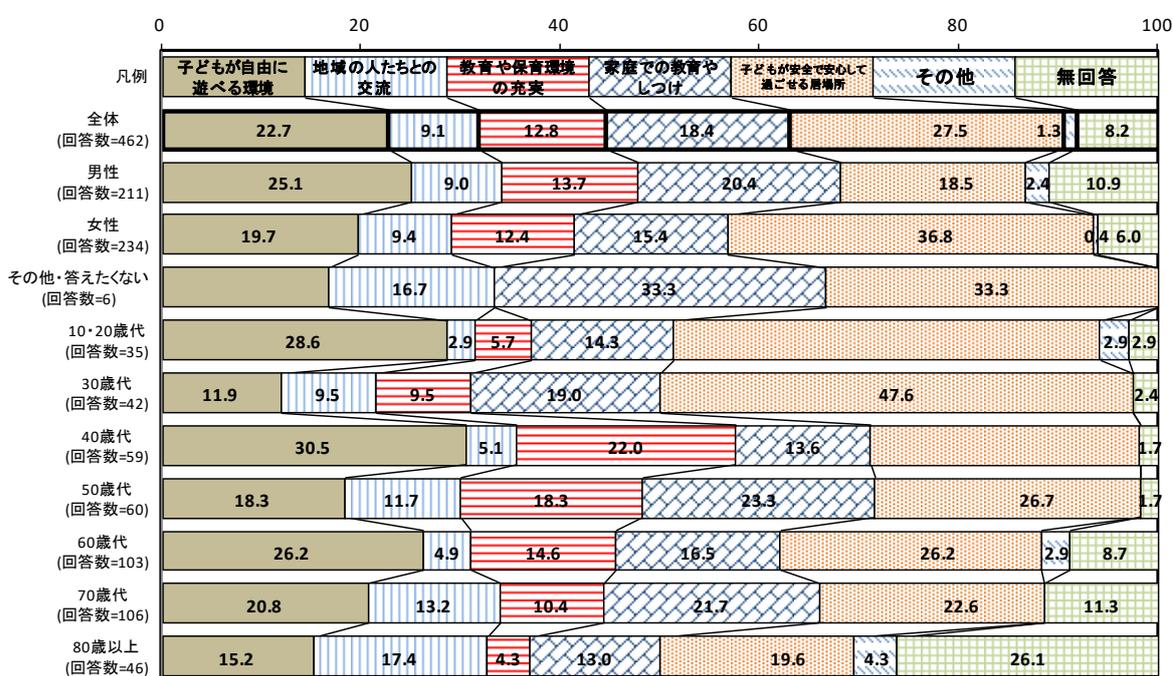
※「その他」の主な内容：歩きタバコをする人等、マナーが悪い人が多い。歩道がせまい。大きな公園がない。治安、子ども・親のモラル。マナーの悪い人が多すぎる。図書館が古くてもう少し子供が明るく過ごせる所に。本もそろえてほしい。道路で遊んでいて通れない。生活保護が多く、町が汚い。など

子育て環境が充実していない理由としては、「自然環境が良くない」が 49.7%と最も多く、次いで、「子どもの遊び場が少ない」が 46.6%、「子どもが安心して過ごせる居場所が充実していない」が 44.3%、「事故や犯罪の多さ」が 43.3%となっている。

問 12 健全な育成に必要なこと あなたは、子どもたちを健やかに育てるために最も必要なことは次のうちどれだと思いますか？



※「その他」の主な内容：両親の教育。親の経済的余裕。治安。女親の責任。スポーツ。

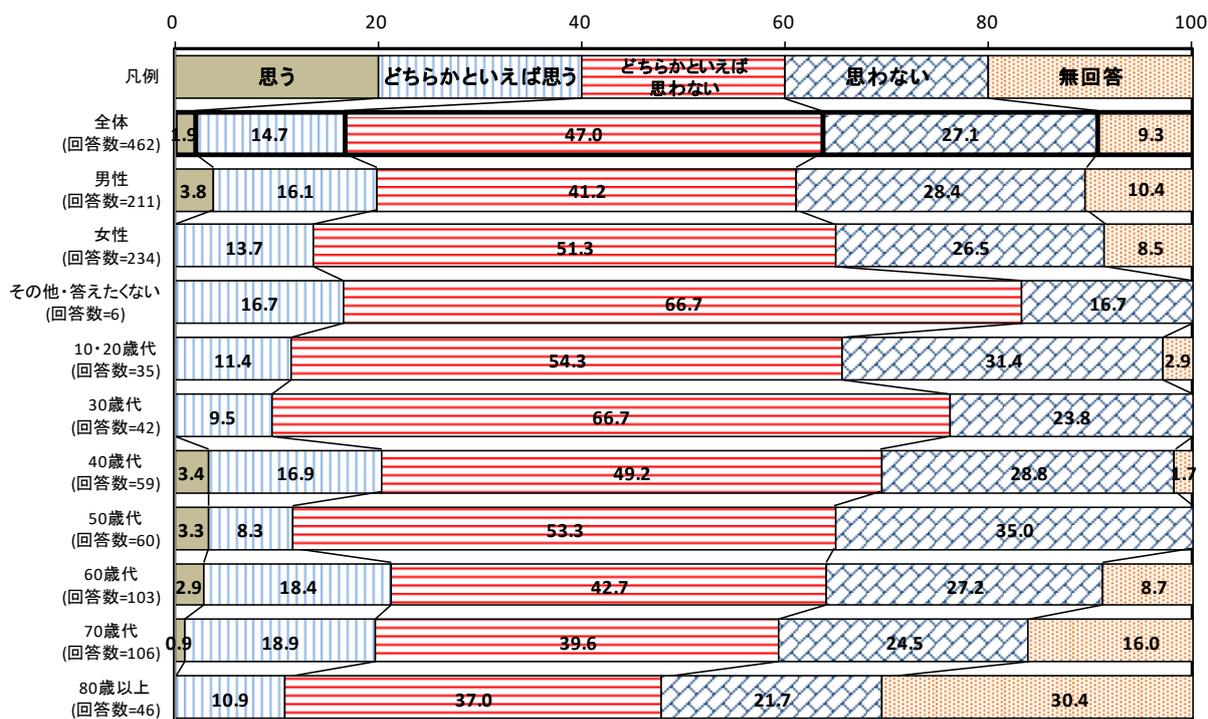


子どもたちを健やかに育てるために最も必要なことは「子どもが安全で安心して過ごせる居場所」が27.5%と最も多く、次いで、「子どもが自由に遊べる環境」が22.7%、「家庭での教育やしつけ」が18.4%となっている。

男女別にみると、『男性』は「子どもが自由に遊べる環境」が25.1%、「家庭での教育やしつけ」が20.4%、「子どもが安全で安心して過ごせる居場所」が18.5%となっている。

『女性』は、「子どもが安全で安心して過ごせる居場所」が36.8%、「子どもが自由に遊べる環境」が19.7%、「家庭での教育やしつけ」が15.4%となっている。

問 13 子どもの遊び場の確保状況 あなたは、地域の子どもの遊び場が十分に確保されていると思いますか？



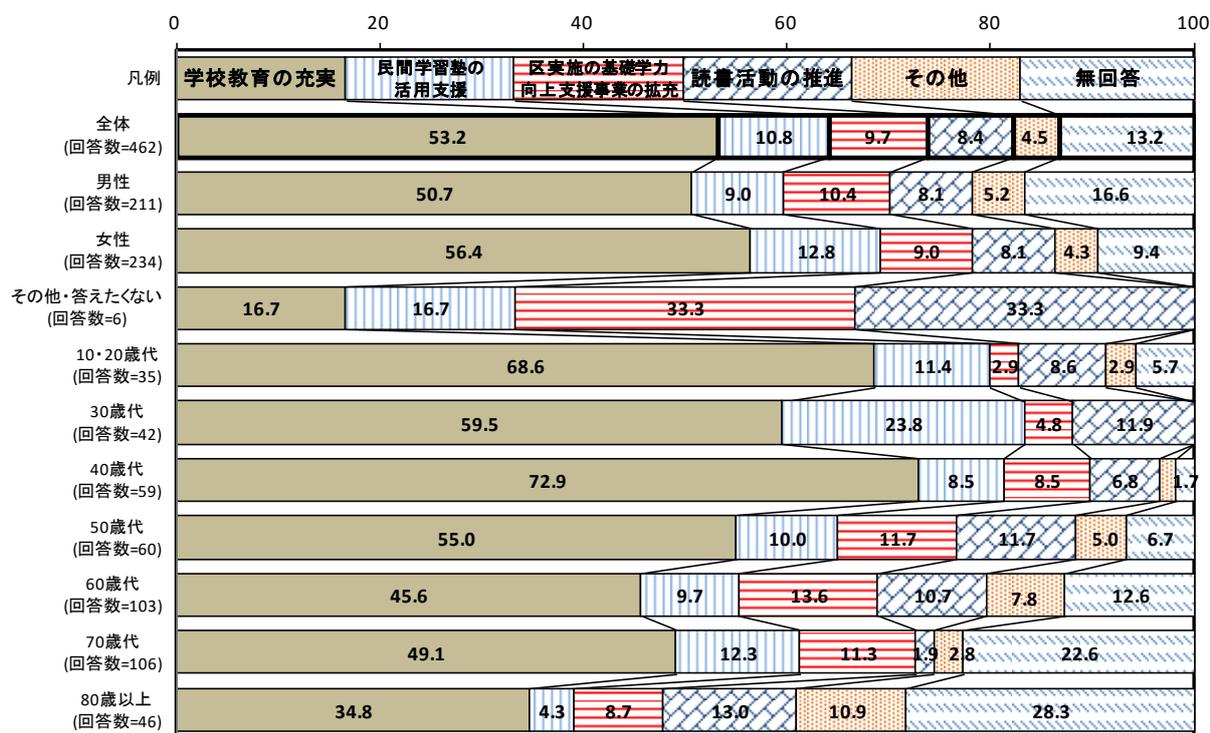
地域の子どもの遊び場が十分に確保されていると「思う」が1.9%、「どちらかといえば思う」が14.7%、合せて“思う”が16.6%となっている。一方「どちらかといえば思わない」が47.0%、「思わない」が27.1%、合せて“思わない”が74.1%となっている。

男女別にみると、『男性』の“思う”が19.9%、“思わない”が69.6%となっている。『女性』の“思う”が13.7%、“思わない”が77.8%となっている。

問 14 小中学校の基礎学力の向上策 あなたは、区内小・中学生の基礎学力を向上させるために、どのような施策が必要だと思いますか？

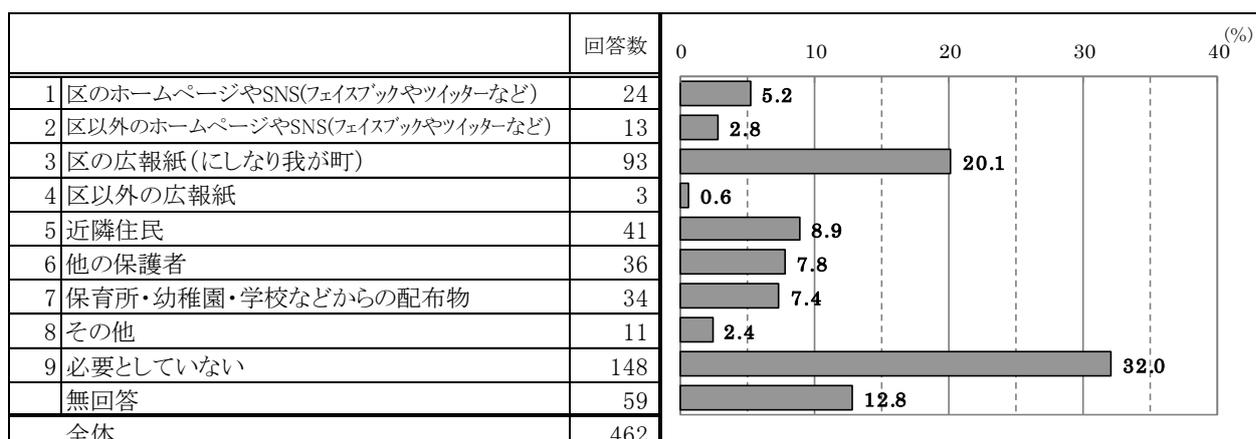
	回答数	0	10	20	30	40	50	60	(%)	
1 学校教育の充実	246									53.2
2 民間学習塾等の活用支援(教育バウチャー制度の拡充等)	50									10.8
3 区実施の基礎学力向上支援事業の拡充(西成まなび塾・西成ジャガビースクール)	45									9.7
4 読書活動の推進	39									8.4
5 その他	21									4.5
無回答	61									13.2
全体	462									

※「その他」の主な内容：学費援助。教育課程の見直し、詰め込みや英語教育、道徳の教科化などやめるべき。家庭学習の充実及びしつけ。家庭で学習しやすい環境を整える働きかけ。OA 使用の見直しと紙と鉛筆の活用を。ある程度の詰め込み教育はやってもいいと思う。保護者が経済的にも精神的にも安定していること。勉強と食事をあわせて支援する。

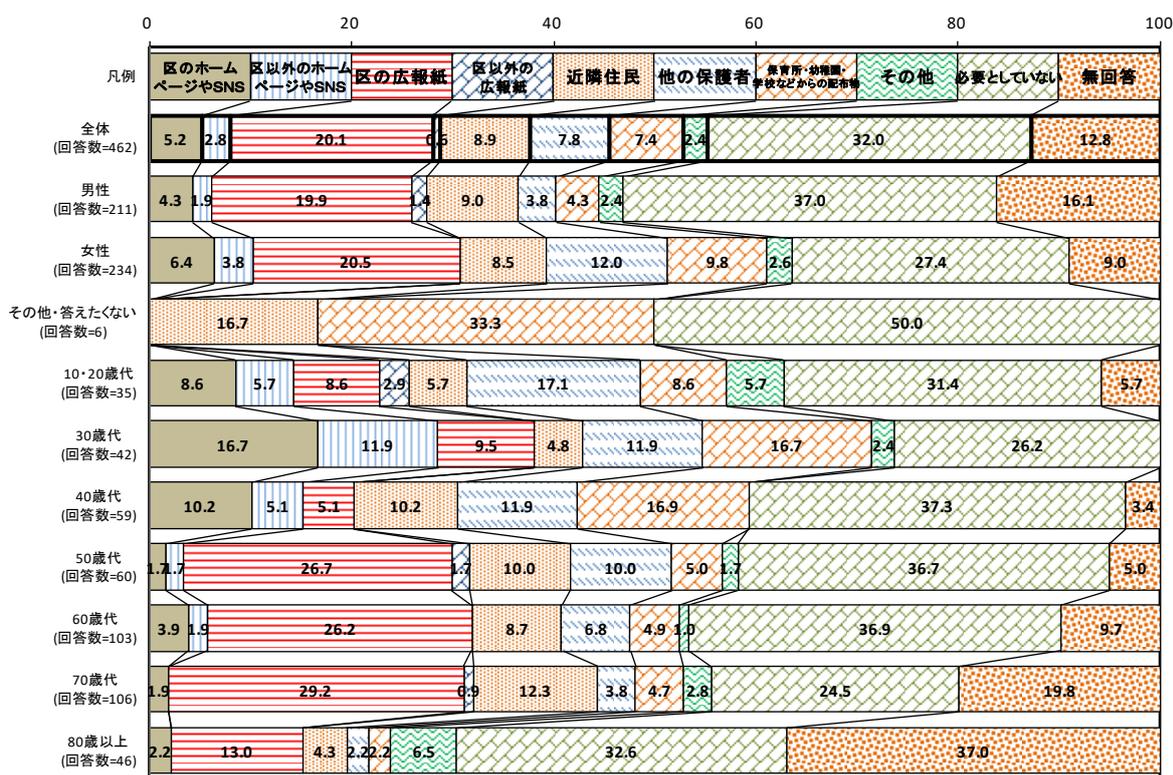


「学校教育の充実」が 53.2%と最も多く、次いで、「民間学習塾等の活用支援(教育バウチャー制度の拡充等)」が 10.8%、「区実施の基礎学力向上支援事業の拡充(西成まなび塾・西成ジャガビースクール)」が 9.7%となっている。

問 15 子育て情報の入手先 あなたは、子ども・子育てに関する情報をどこから入手することが多いですか？



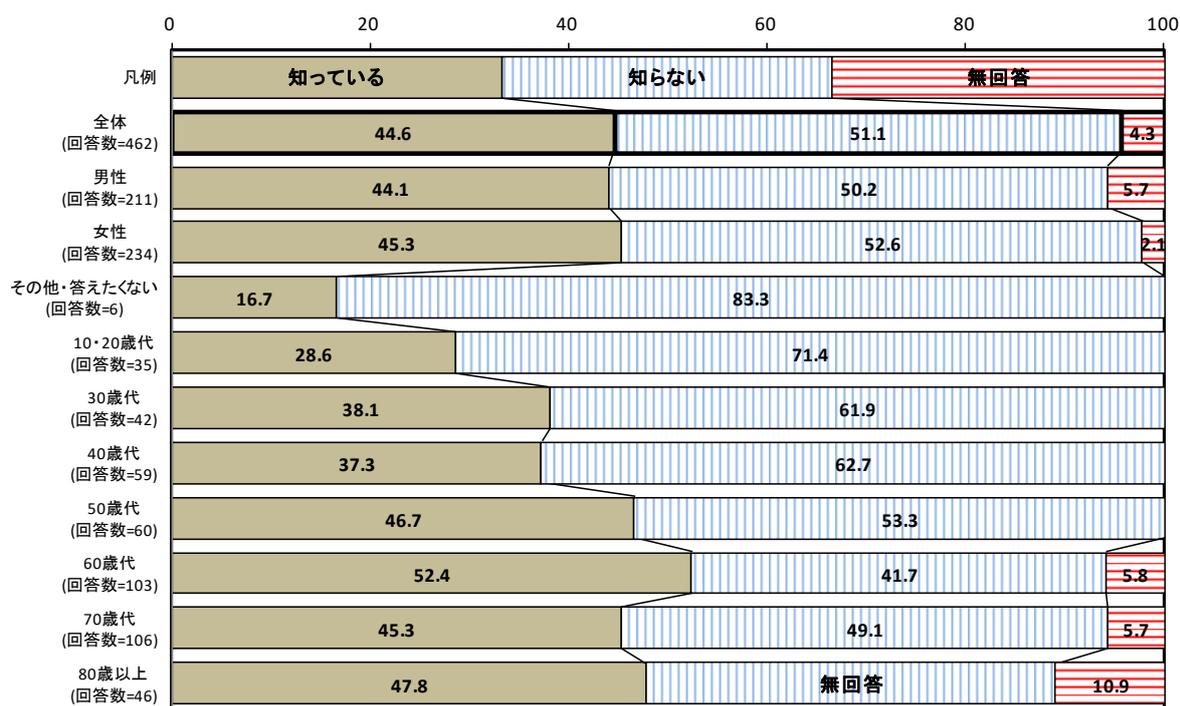
※「その他」の主な内容：赤ちゃん関係の雑誌。兄妹など、娘や孫、友達。区役所、図書館の掲示板。テレビ・新聞。ニュース。



子ども・子育てに関する情報を入手する方法としては、「区の広報紙(にしなり我が町)」が20.1%、次いで、「近隣住民」が8.9%、「他の保護者」が7.8%となっている。一方、「必要としていない」が32.0%と最も多くなっている。

6.「福祉」について

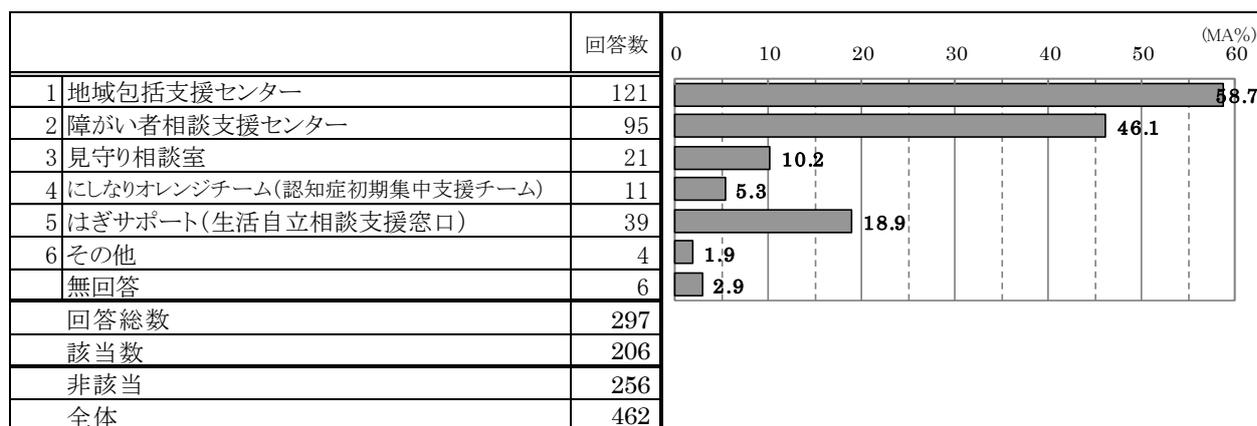
問 16 高齢者や障がい者の相談窓口の認識 あなたは、区役所（保健福祉センター）のほかに高齢者や障がい者にかかる相談窓口があることを知っていますか？



区役所（保健福祉センター）のほかに高齢者や障がい者にかかる相談窓口があることを「知っている」が44.6%、「知らない」が51.1%となっている。

男女別にみると、『男性』の「知っている」が44.1%、「知らない」が50.2%となっている。『女性』の「知っている」が45.3%、「知らない」が52.6%となっている。

問 16-1 相談窓口（問 16 で「知っている」と回答された方のみ）その相談窓口は、次のうちどれですか？【複数回答】

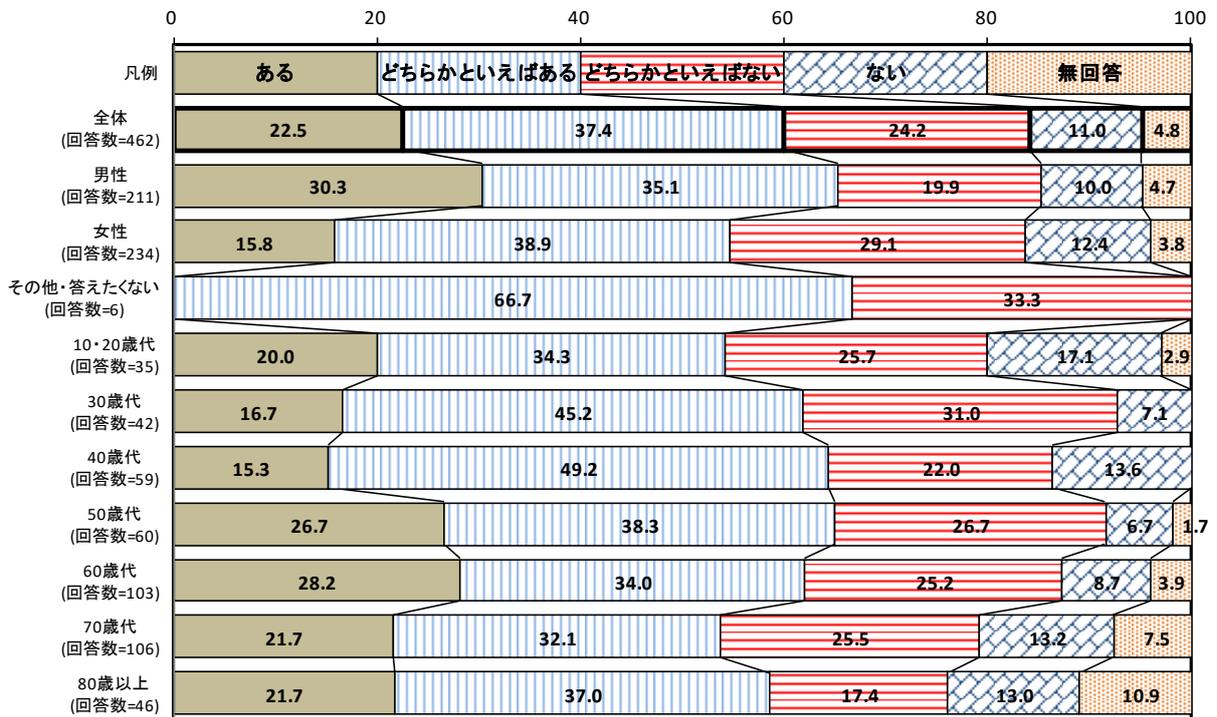
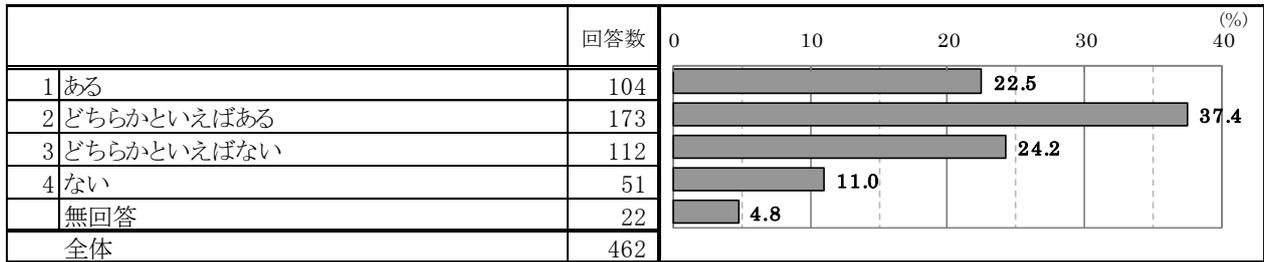


※「その他」の主な内容：民生委員、介護事業所など

区役所（保健福祉センター）のほかに高齢者や障がい者にかかる相談窓口としては、「地域包括支援センター」が 58.7%と最も多く、次いで、「障がい者相談支援センター」が 46.1%、「はぎサポート（生活自立相談支援窓口）」が 18.9%となっている。

7. 「人権・生涯学習」について

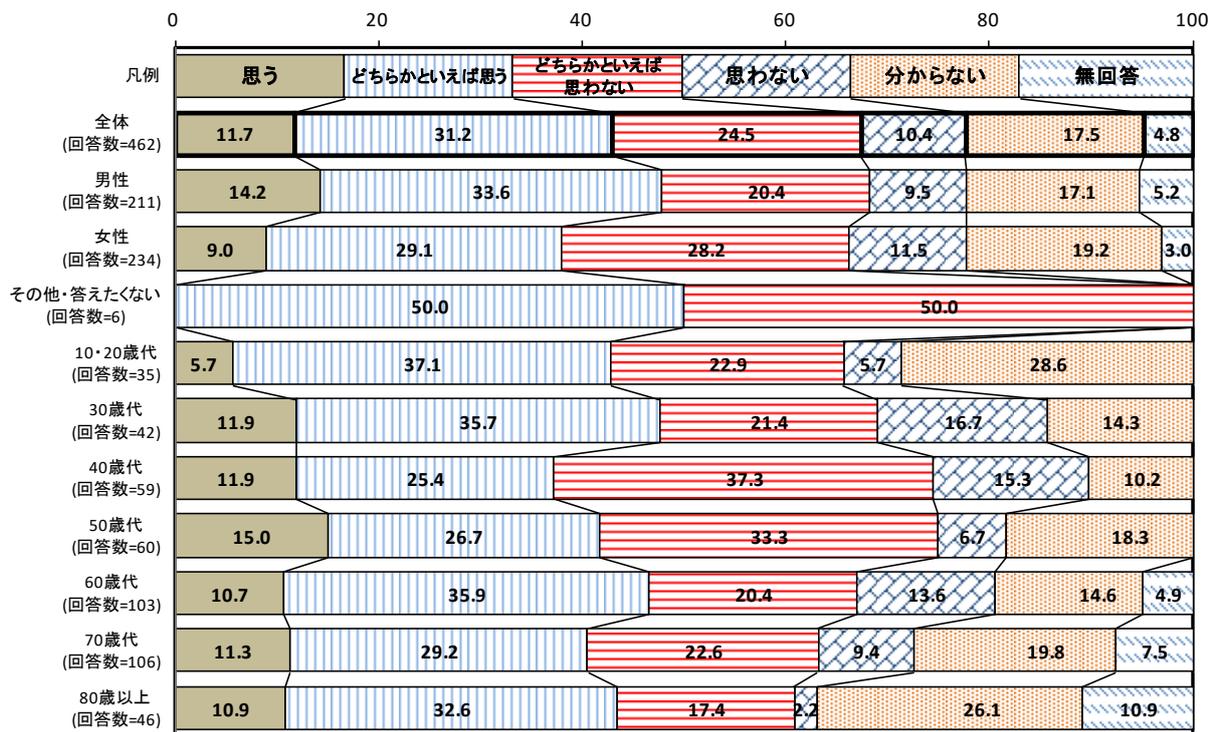
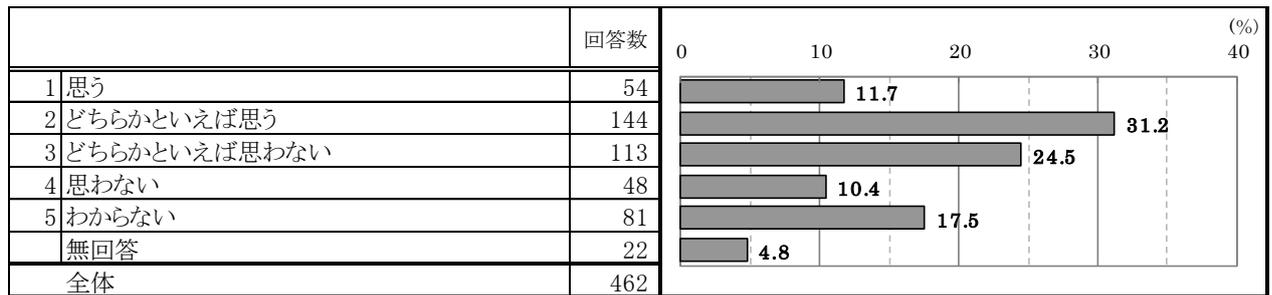
問 17 人権に関する関心度 あなたは、人権について関心がありますか？



人権についての関心度は、「どちらかといえばある」が 37.4%と最も多く、次いで「どちらかといえばない」が 24.2%となっている。「ある」の 22.5%と合わせて“人権について関心がある”人は 59.9%となっている。

男女別にみると、“人権について関心がある”のは『男性』が 65.4%、『女性』が 54.7%となっている。

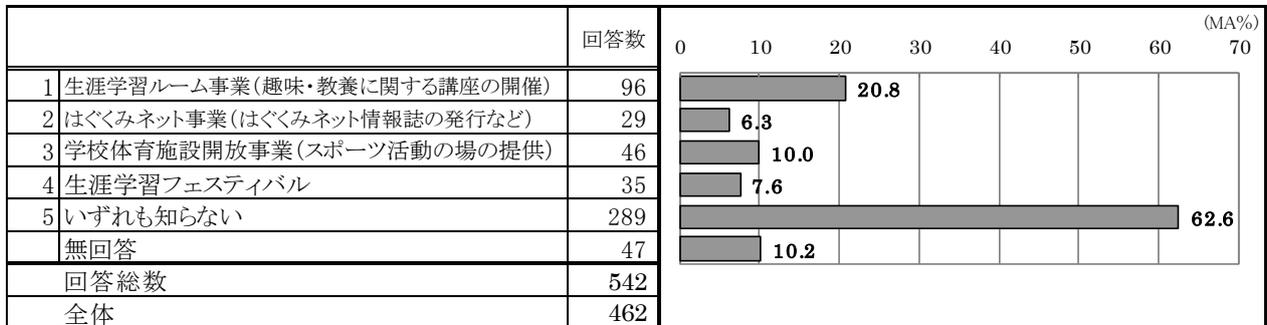
問 18 人権意識の高まりの認識 あなたは、以前に比べて人権意識が高まったと思いますか？



以前に比べて人権意識が高まったと「思う」が11.7%、「どちらかといえば思う」が31.2%、合せて“思う”が42.9%、「どちらかといえば思わない」が24.5%、「思わない」が10.4%。合せて“思わない”が34.9%となっている。

男女別でみると、『男性』の“思う”が47.8%、“思わない”が29.9%となっている。『女性』の“思う”が38.1%、“思わない”が39.7%となっている。

問 19 生涯学習関連の認知度 小学校や中学校を拠点として実施している生涯学習事業（生涯学習ルーム事業、はぐくみネット事業、学校体育施設開放事業）、区内の生涯学習ルームおよび関連施設が活動成果を一堂に発表する「生涯学習フェスティバル」で、あなたが知っているものはありますか？【複数回答】

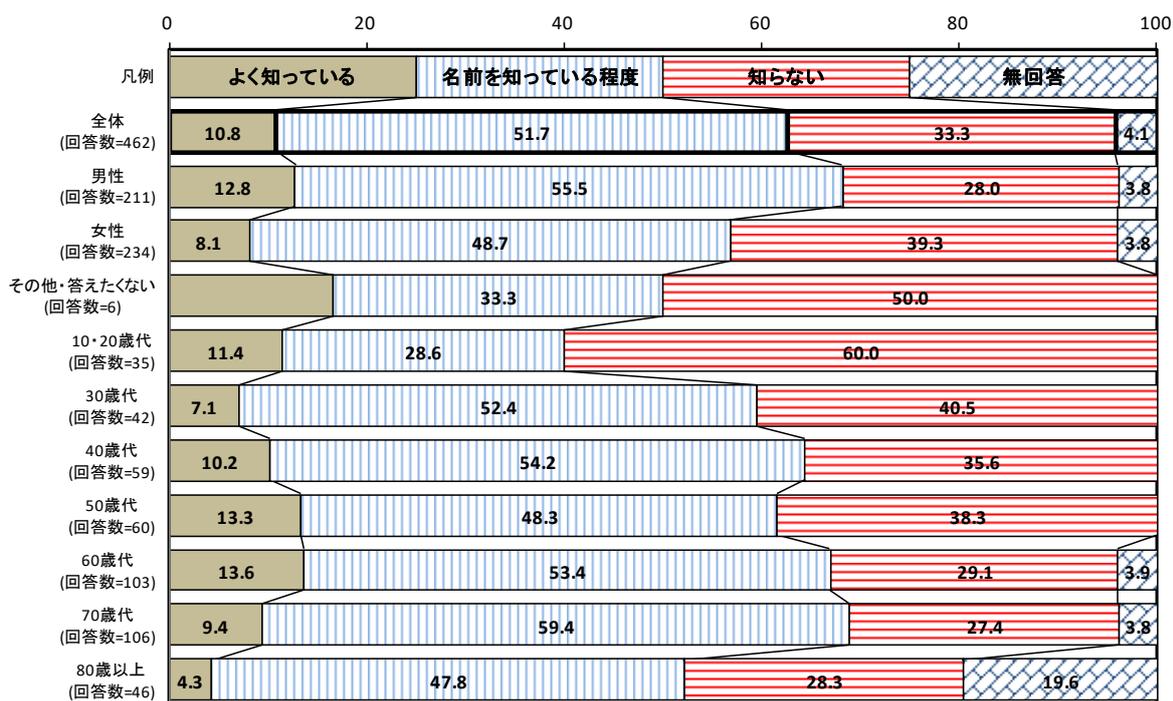


「生涯学習フェスティバル」で知っているものは「いずれも知らない」が62.6%と最も多く、次いで、「生涯学習ルーム事業（趣味・教養に関する講座の開催）」が20.8%、「学校体育施設開放事業（スポーツ活動の場の提供）」が10.0%となっている。

8.「西成特区構想」について

問 20 西成特区構想の認知度 あなたは、西成特区構想を知っていますか？

		回答数	(%)						
			0	10	20	30	40	50	60
1	よく知っている	50	10.8						
2	名前を知っている程度	239	51.7						
3	知らない	154	33.3						
	無回答	19	4.1						
	全体	462							



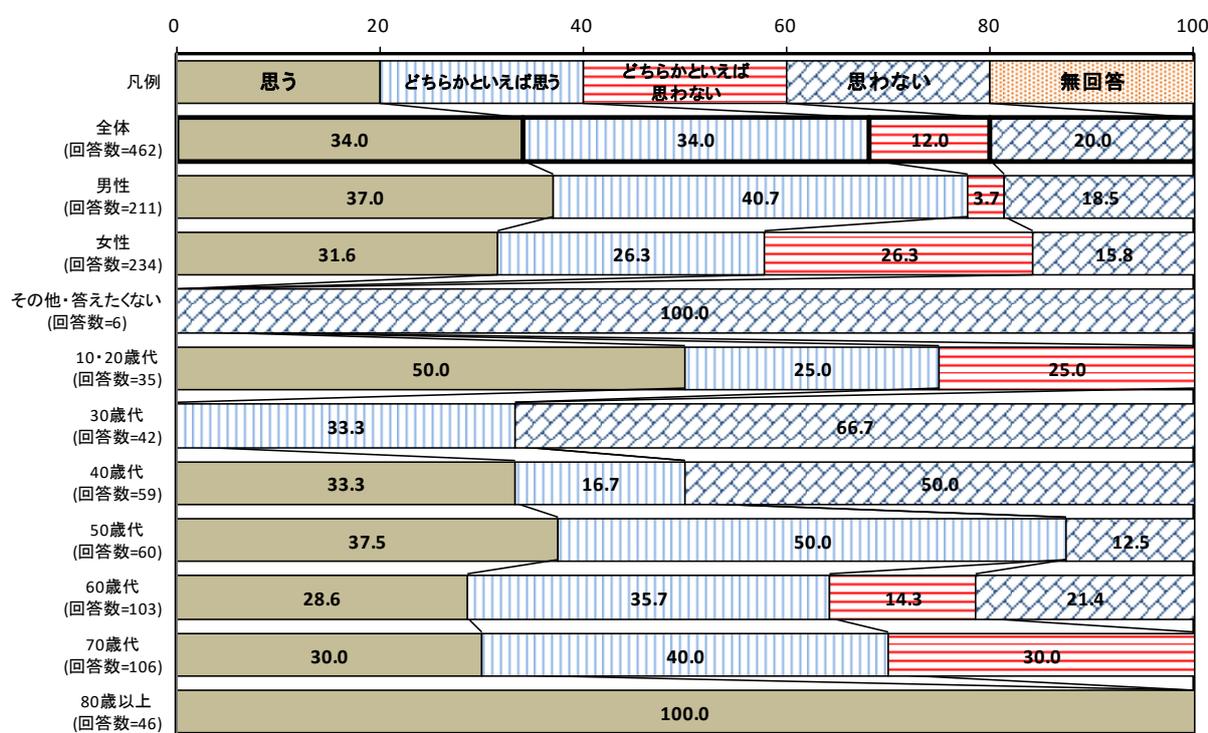
“西成特区構想”の認知度は、「名前を知っている程度」が51.7%であり、次いで「知らない」が33.3%、「よく知っている」が10.8%となっている。

「よく知っている」(10.8%)と「名前を知っている程度」(51.7%)を合わせた“西成特区構想”を知っている人は62.5%となっている。

男女別にみると、“西成特区構想”を知っている人は、『男性』が68.3%、『女性』が56.8%となっている。

問 20-1 西成特区構想による改善効果 (問 20 で「よく知っている」と回答されたかたのみ) あなたは、西成特区構想が実施されてから、西成区は良くなったと思いますか？

	回答数	0	10	20	30	40	(%)	
1 思う	17	[Bar chart showing 34.0%]					34.0	
2 どちらかといえば思う	17	[Bar chart showing 34.0%]					34.0	
3 どちらかといえば思わない	6	[Bar chart showing 12.0%]					12.0	
4 思わない	10	[Bar chart showing 20.0%]					20.0	
無回答	0	[Bar chart showing 0.0%]					0.0	
全体	50							



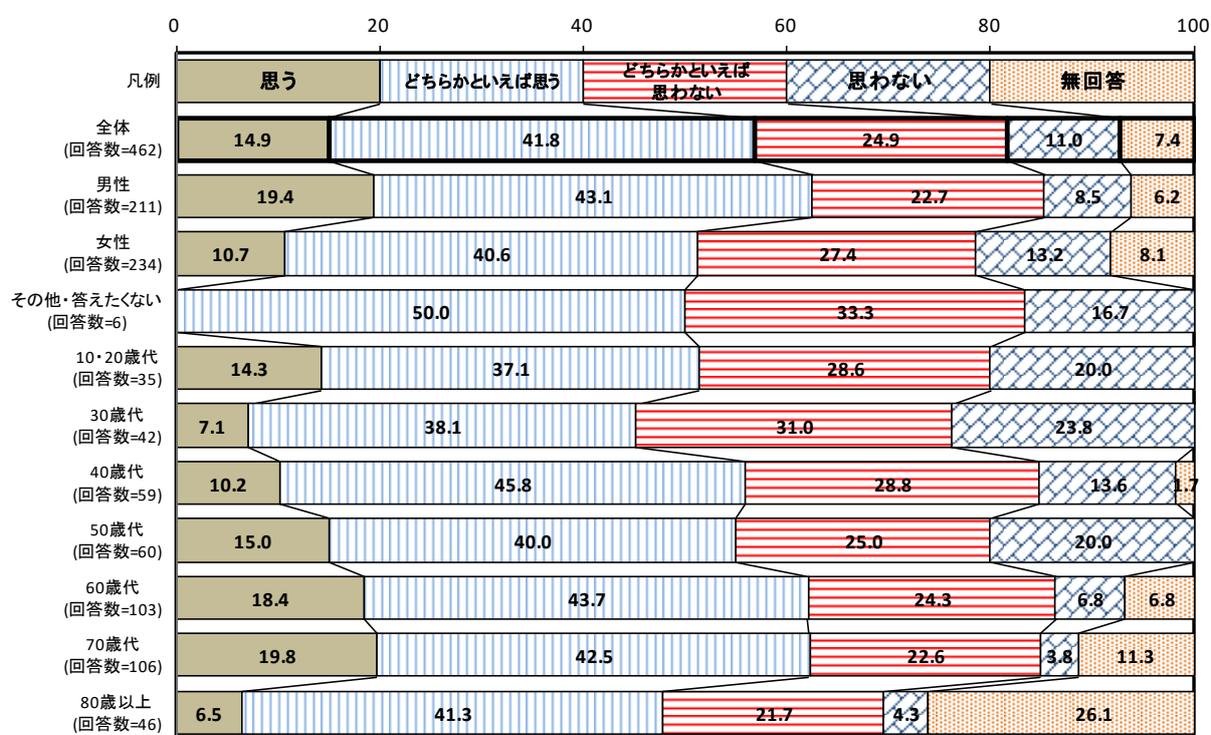
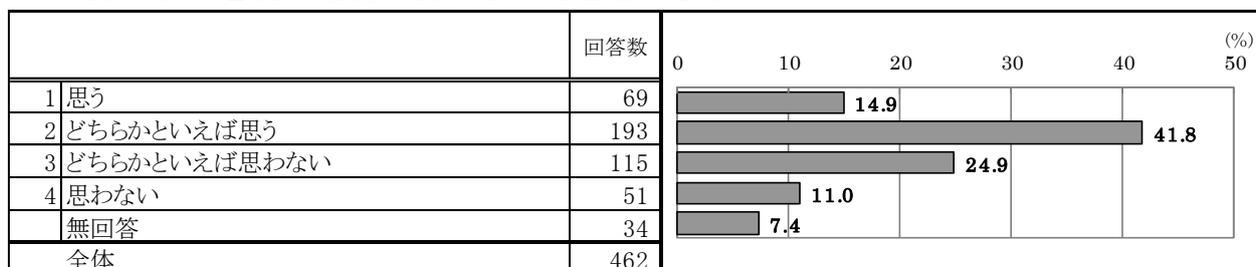
西成特区構想により西成区が良くなったかについては、「思う」と「どちらかといえば思う」が 34.0 で最も多く、次いで「思わない」が 20.0%、「どちらかといえば思わない」が 12.0%となっている。

「思う」(34.0%)と「どちらかといえば思う」(34.0%)を合わせた“西成特区構想により西成区が良くなったと思っている”人は 68.0%となっている。

「思わない」(20.0%)と「どちらかといえば思わない」(12.0%)を合わせた“西成特区構想により西成区が良くなったと思っていない”人は 32.0%となっている。

男女別にみると、『男性』の“思う”が 77.7%、“思わない”が 22.2%となっている。『女性』は、“思う”が 57.9%、“思わない”が 42.1%となっている。

問 21 あいりん地域の環境改善 大阪市、大阪府、大阪府警察が協働で西成特区構想に呼応して、巡回・啓発活動によるごみの不法投棄対策、迷惑駐輪対策や、見まもり活動などのいまみや小中一貫校周辺の通学路を中心とした安全対策、薬物依存症等に対する支援や薬物事犯に対する取締活動などの薬物対策など、あいりん地域の環境整備の取組みを推進しています。このような取組みにより、あなたは、あいりん地域の環境が良くなったと思いますか？

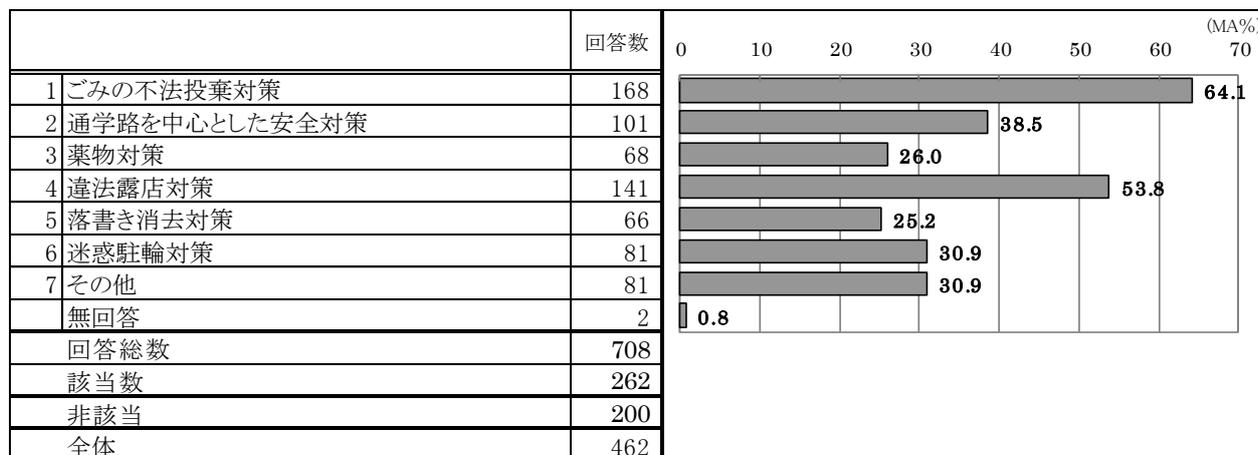


西成特区構想によりあいりん地域の環境が良くなったかについては、「どちらかといえば思う」が41.8%で最も多く、次いで、「どちらかといえば思わない」が24.9%、「思う」が14.9%となっている。

「思う」(14.9%)と「どちらかといえば思う」(41.8%)を合わせた“あいりん地域の環境が良くなった”と思っている人は56.7%となっている。

男女別にみると、“あいりん地域の環境が良くなった”と思っている人は、『男性』が62.5%、『女性』が51.3%となっている。

問 21-1 あいりん地域の環境改善（問 21 で「思う」「どちらかといえば思う」と回答の方のみ）どの取組みにより良くなったと思いますか？【複数回答】



※「その他」の内容：街灯設置など

“あいりん地域の環境“が良くなった取組み(複数回答)は、「ごみの不法投棄対策」が 64.1%で最も多く、次いで「違法露店対策」が 53.8%、「通学路を中心とした安全対策」が 38.5%となっている。

問 21-2 あいりん地域の環境改善（問 21 で「どちらかといえば思わない」「思わない」と回答の方のみ）良くなったと思わない理由として、改善が進んでいないことは何ですか？【複数回答】

	回答数	(MA%)
1 ごみの不法投棄対策	99	59.6
2 通学路を中心とした安全対策	32	19.3
3 薬物対策	38	22.9
4 違法露店対策	26	15.7
5 落書き消去対策	28	16.9
6 迷惑駐輪対策	67	40.4
7 その他	18	10.8
無回答	19	11.4
回答総数	327	
該当数	166	
非該当	296	
全体	462	

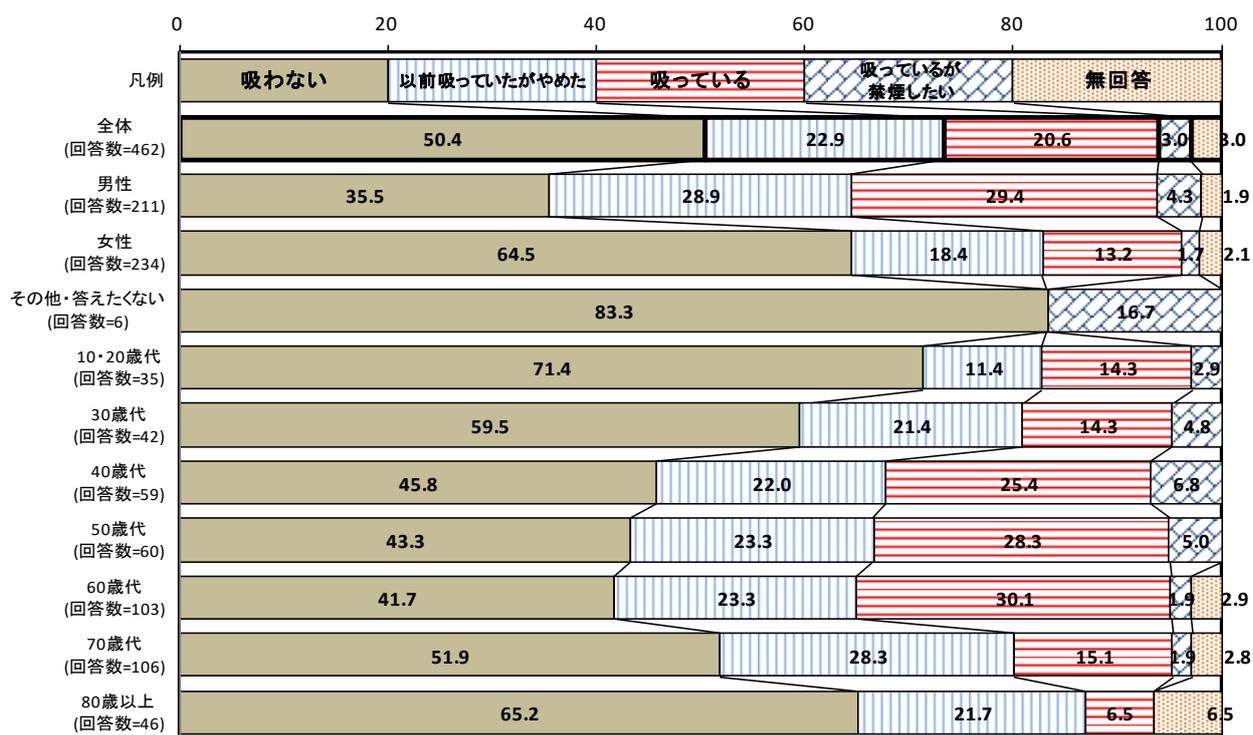
※「その他」の主な内容：嫌がらせ(自転車をパンクさせる等)。自転車の信号無視、スマホ片手の走行。住民参加となっていない。ホームレス。くさい・きたない・こわいといった環境・安全対策など

“あいりん地域の環境“が良くなったと思わないこと（複数回答）は、「ごみの不法投棄対策」が 59.6%で最も多く、次いで「迷惑駐輪対策」が 40.4%、「薬物対策」が 22.9%、「通学路を中心とした安全対策」が 19.3%となっている。

9. 「健康づくり」について

問 22 喫煙の状況 あなたは、タバコを吸いますか？また、吸っていましたか？

	回答数	0	10	20	30	40	50	60	(%)
1 吸わない	233	50.4							
2 以前吸っていたがやめた	106	22.9							
3 吸っている	95	20.6							
4 吸っているが禁煙したい	14	3.0							
無回答	14	3.0							
全体	462								

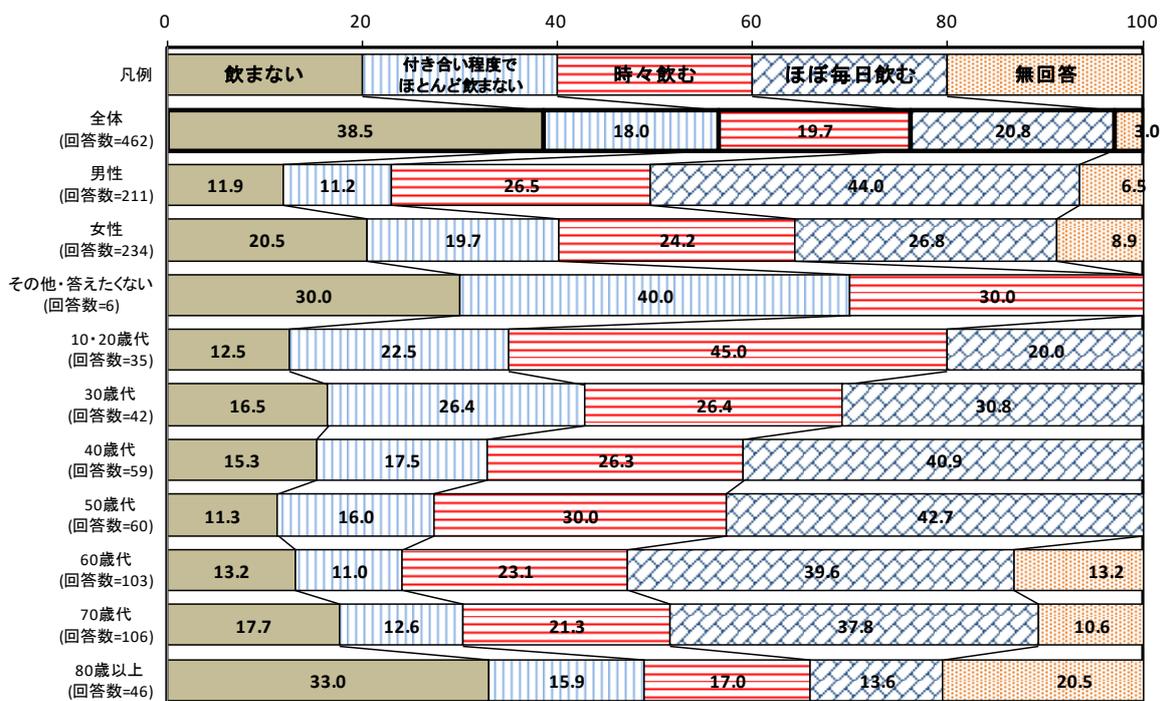


喫煙は、「吸わない」が50.4%と5割を超えており、「以前、吸っていたがやめた」の22.9%と合わせると“タバコを吸っていない”人は73.3%となっている。また、「吸っている」が20.6%、「吸っているが、禁煙したい」が3.0%であり、合わせて“タバコを吸っている”人は23.6%となっている。

男女別にみると、“タバコを吸っていない”のは、『男性』が64.4%、『女性』が82.9%となっている。“タバコを吸っている”のは『男性』が33.7%、『女性』が14.9%となっている。

問 23 飲酒の状況 あなたは、お酒を飲みますか？

	回答数	0	10	20	30	40 (%)	
1 飲まない	178	[Bar chart showing 38.5%]					38.5
2 付き合い程度でほとんど飲まない	83	[Bar chart showing 18.0%]					18.0
3 時々飲む	91	[Bar chart showing 19.7%]					19.7
4 ほぼ毎日飲む	96	[Bar chart showing 20.8%]					20.8
無回答	14	[Bar chart showing 3.0%]					3.0
全体	462						

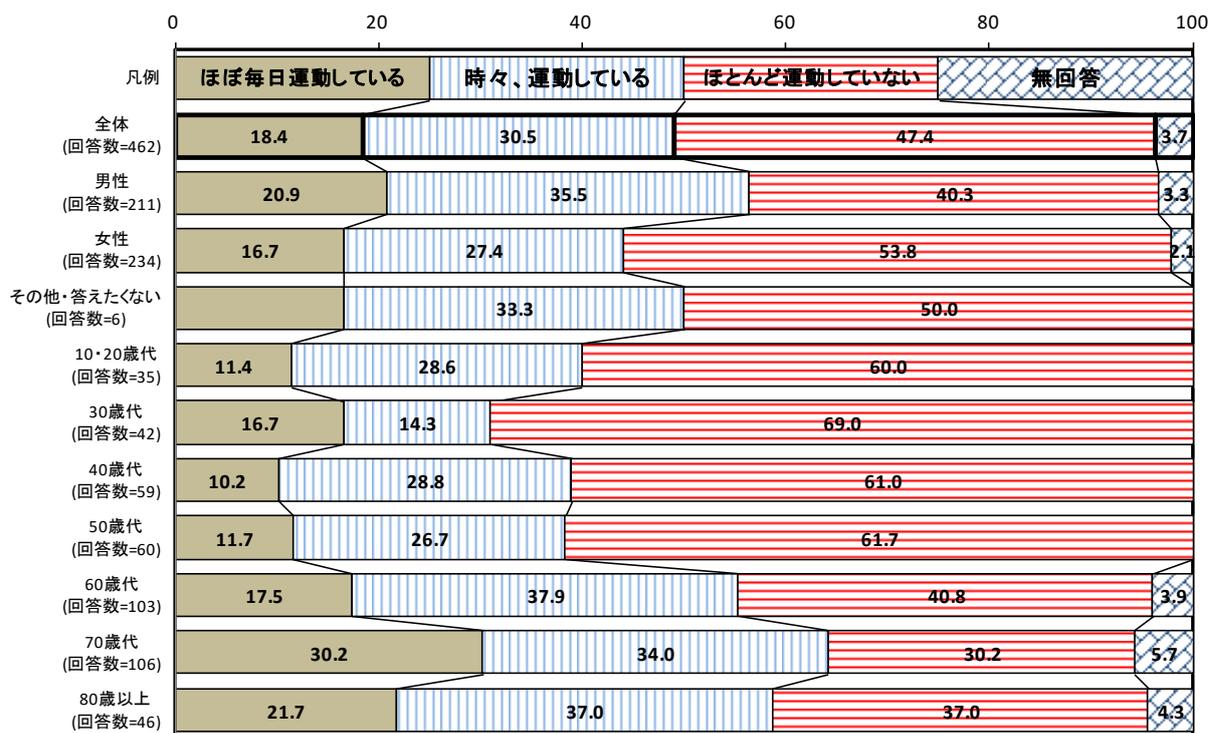


飲酒は、「飲まない」が38.5%と最も多くなっている。「時々飲む」が19.7%、「ほぼ毎日飲む」が20.8%であり、合わせて“飲酒している”人は40.5%となっている。

男女別にみると、『男性』は「ほぼ毎日飲む」が44.0%、「時々飲む」が26.5%であり、『女性』は「ほぼ毎日飲む」が26.8%、「時々飲む」が24.2%となっている。

なお、「時々飲む」人の1週間の飲酒日数は、4日が8人、3日が23人、2日が21人、1日が20人となっている。

問 24 定期的な運動 あなたは、定期的に運動していますか？



定期的な運動は、「ほとんど運動していない」が 47.4%と半数近くになっている。

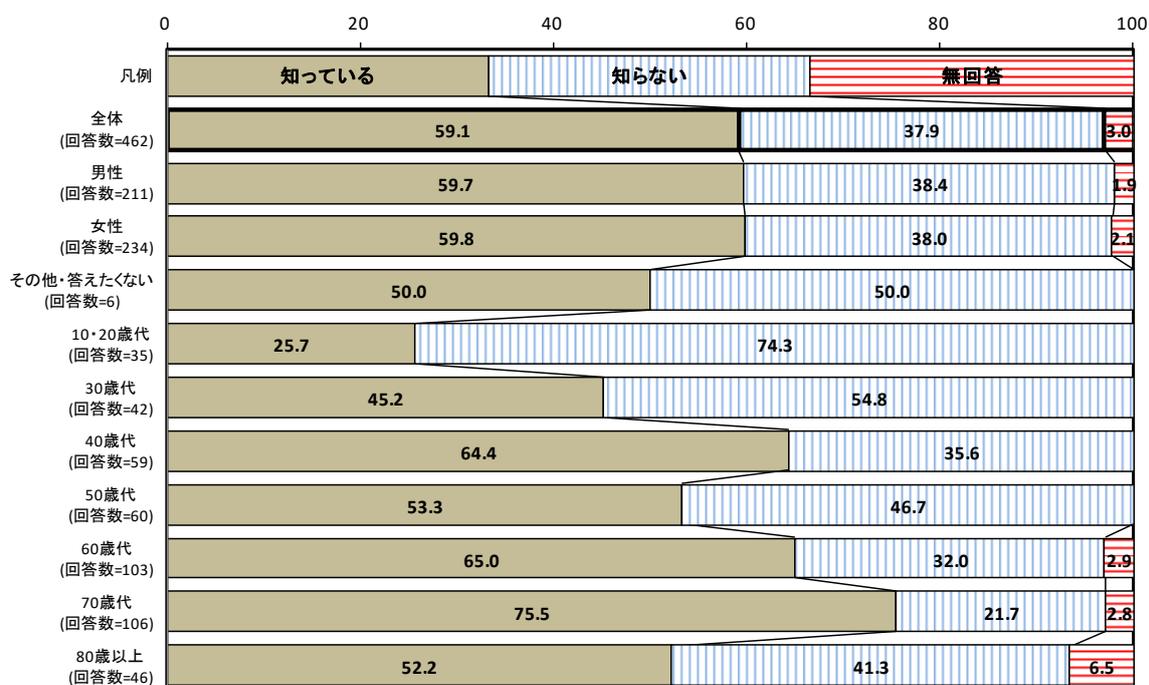
「ほぼ毎日運動している」が 18.4%、「時々運動している」が 30.5%であり、合わせて“運動している”人は 48.9%となっている。

男女別にみると、“運動している”のは『男性』が 56.4%であり、『女性』は 44.1%となっている。

なお、「時々運動している」人の 1 週間の運動日数は、2 日が 35 人、3 日が 26 人、1 日が 19 人、4 日が 13 人となっている。

問 25 区役所等での無料結核健診の認知度 あなたは、区役所及び分館で、無料で結核健診を受診できることを知っていますか？

	回答数	(%)
1 知っている	273	59.1
2 知らない	175	37.9
無回答	14	3.0
全体	462	

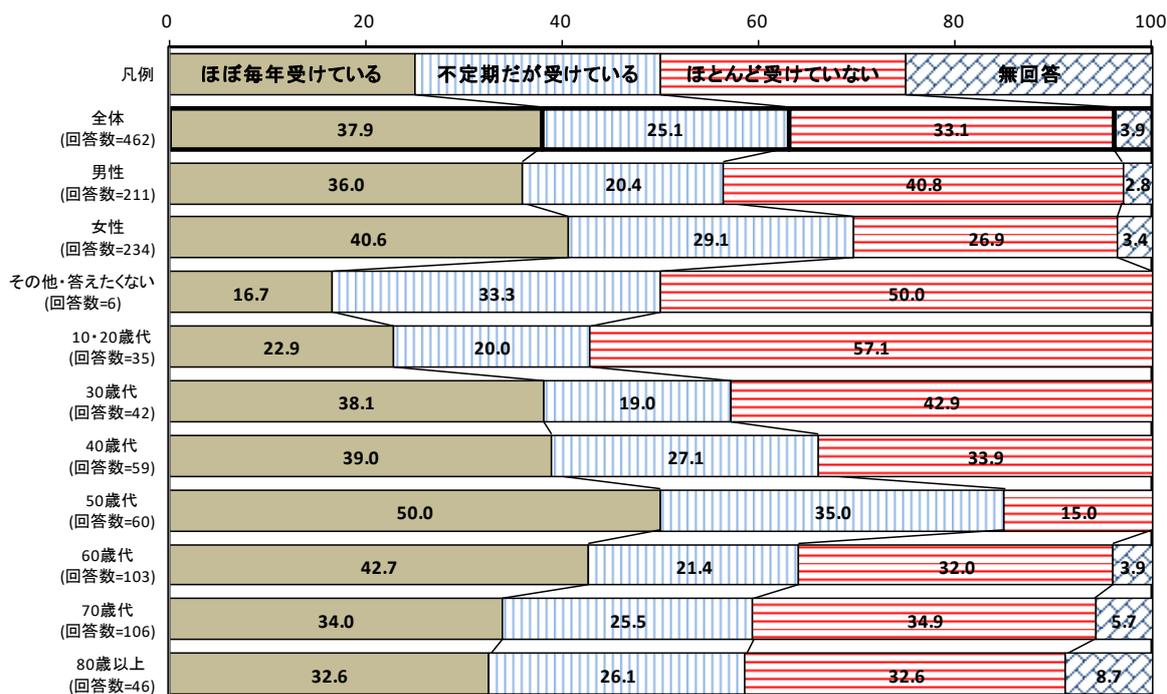


区役所や分館で無料で結核健診を受診できることは、「知っている」が 59.1%と半数を超えており、「知らない」は 37.9%となっている。

男女別にみると、「知っている」は、『男性』が 59.7%、『女性』が 59.8%となっている。

問 26 健康診断等の受診状況 あなたは、定期的に健康診断やがん検診を受けていますか？

	回答数	(%)
1 ほぼ毎年受けている	175	37.9
2 不定期だが受けている	116	25.1
3 ほとんど受けていない	153	33.1
無回答	18	3.9
全体	462	

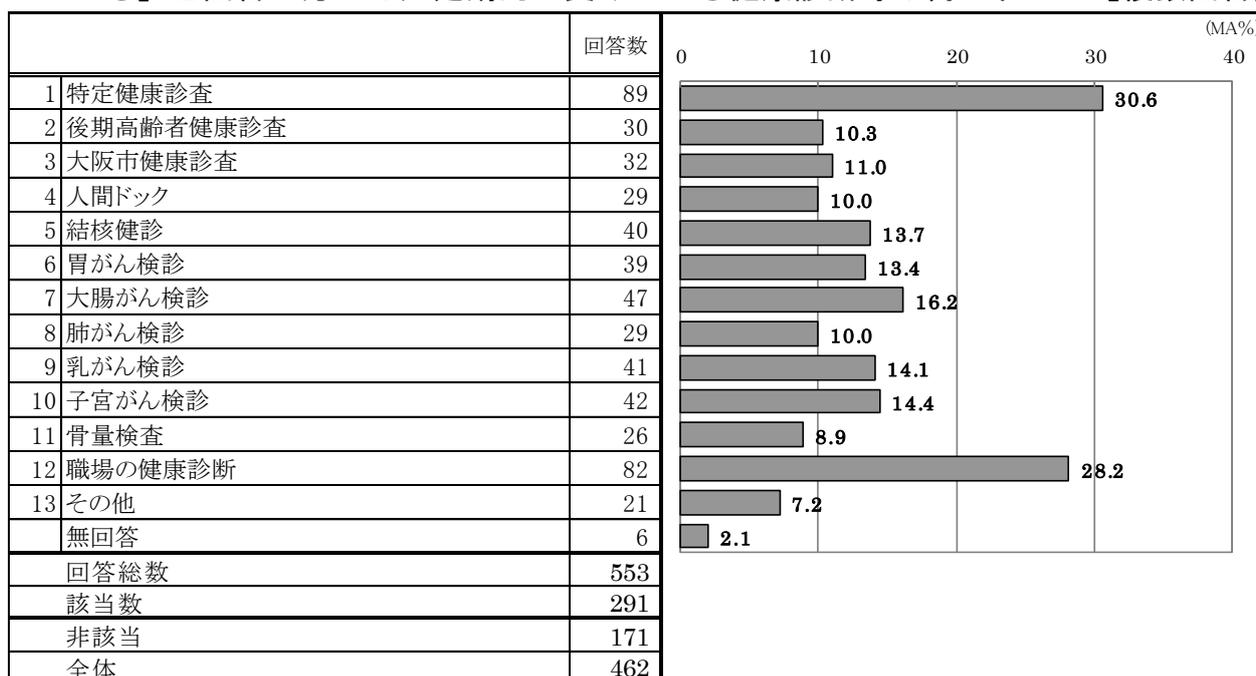


健康診断は、「ほぼ毎年受けている」が 37.9%と最も多く、次いで「ほとんど受けていない」が 33.1%、「不定期だが受けている」が 25.1%となっている。

男女別にみると、『男性』は「ほぼ毎年受けている」が 36.0%、「ほとんど受けていない」が 40.8%、「不定期だが受けている」が 20.4%となっている。

また、『女性』は、「ほぼ毎年受けている」が 40.6%、「ほとんど受けていない」が 26.9%、「不定期だが受けている」が 29.1%となっている。

問 26-1 健康診断等の内容（問 26 で「ほぼ毎年受けている」「不定期だが受けている」と回答の方のみ）定期的に受けている健康診断等は何ですか？【複数回答】

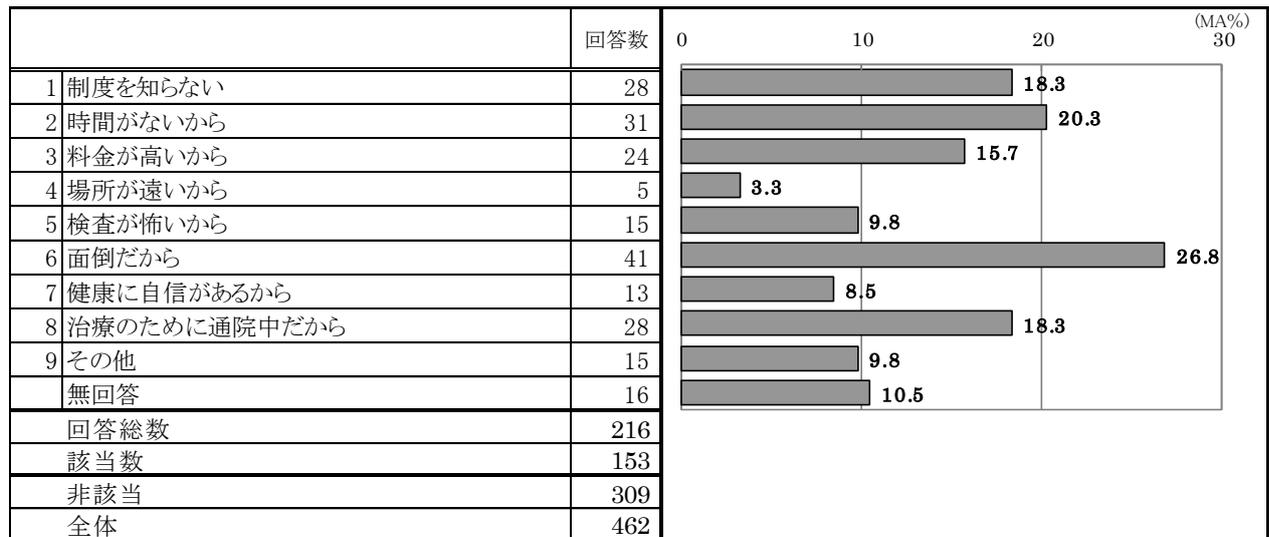


※『ほぼ毎年受けている』人の「その他」の主な内容：血液検査、胃カメラ など

※『時々受けている』人の「その他」の主な内容：血液検査、CT など

受けている健康診断等（複数回答）は、「特定健康診査」が 30.6%と最も多く、次いで「職場の健康診断」が 28.2%、「大腸がん検診」が 16.2%となっている。

問 26-2 健康診断等を受けていない理由（問 26 で「ほとんど受けていない」と回答の方のみ）健康診断等を受けていない理由は何ですか？【複数回答】

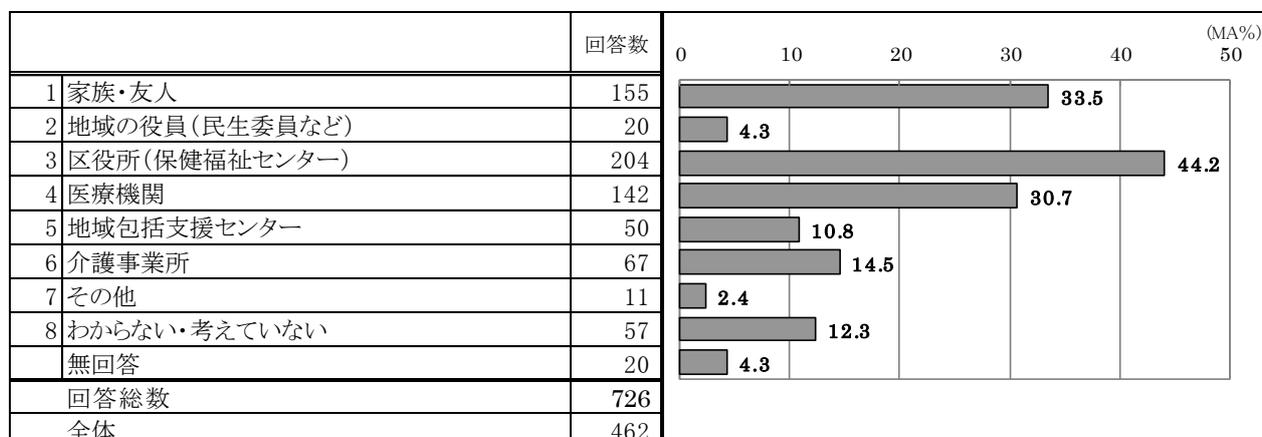


※「その他」の主な内容：かかりつけ医に診てもらっている、子育てで多忙、若い、生活保護 など

健康診断等を受けていない理由（複数回答）は、「面倒だから」が 26.8%と最も多く、次いで「時間がないから」が 20.3%、「制度を知らない」と「治療のため通院中だから」が 18.3%となっている。

10. 「在宅医療」について

問 27 医療や介護サービスの相談相手 あなたは、医療や介護サービスについて相談が必要な時はどこに相談しますか？【複数回答】



※「その他」の主な内容：自分で調べる、入居施設の職員、保険会社 など

医療や介護サービスについての相談相手（複数回答）は、「区役所（保健福祉センター）」が44.2%と最も多く、次いで「家族・友人」が33.5%、「医療機関」が30.7%となっている。

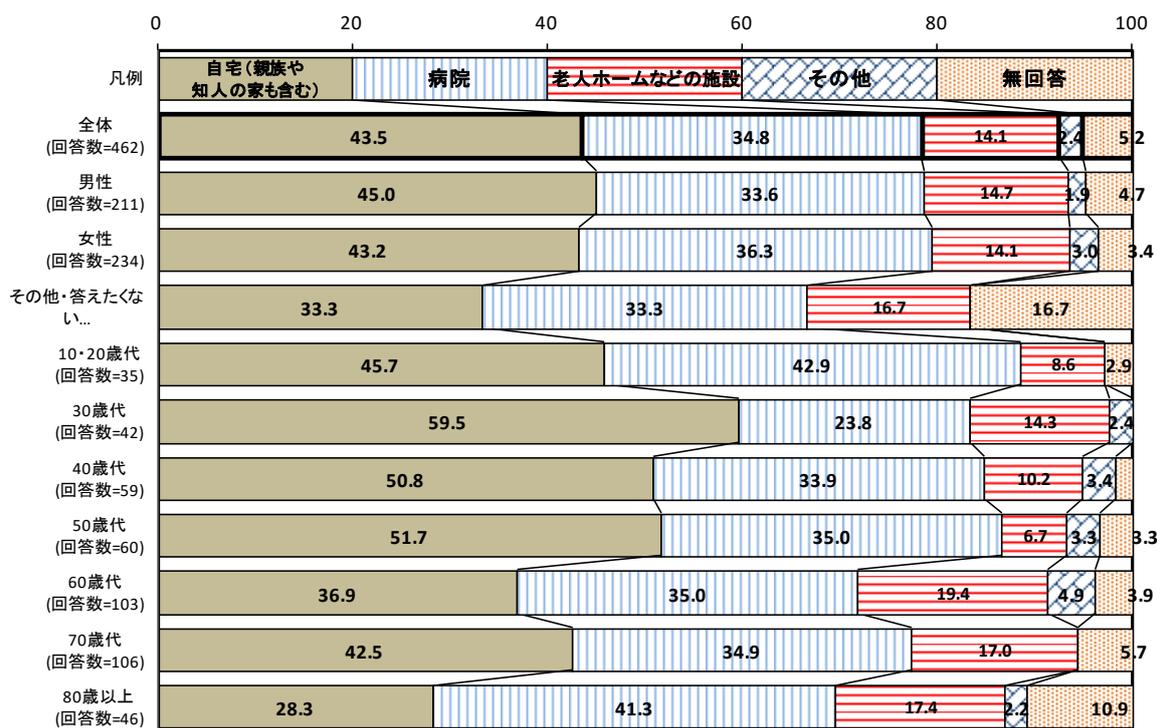
問 28 在宅医療サービスの認知度 あなたは、在宅医療を支えるサービスについて
知っていますか？【複数回答】

	回答数	0	10	20	30	40	(MA%) 50	
1 医師の訪問診療(往診)	218							47.2
2 歯科医師の訪問歯科診療	117							25.3
3 歯科衛生士の訪問歯科指導	57							12.3
4 薬剤師の在宅訪問薬剤管理指導	44							9.5
5 訪問看護ステーションや医療機関の訪問看護	127							27.5
6 理学療法士・作業療法士の訪問リハビリステーション	67							14.5
7 知らない	185							40.0
無回答	33							7.1
回答総数	848							
全体	462							

在宅医療を支えるサービスの認知度（複数回答）は、「医師の訪問診療（往診）」が 47.2%と最も多く、次いで「知らない」が 40.0%、「訪問介護ステーション等の訪問介護」が 27.5%となっている。

問 29 医療と介護が必要な場合の生活の場 もしもあなたが、がんや慢性の病気などで医療と介護が同時に必要になった場合、どこで暮らしたいと思いますか？

	回答数	0	10	20	30	40	50	(%)
1 自宅(親族や知人の家も含む)	201	[Bar chart showing 43.5%]						43.5
2 病院	161	[Bar chart showing 34.8%]						34.8
3 老人ホームなどの施設	65	[Bar chart showing 14.1%]						14.1
4 その他	11	[Bar chart showing 2.4%]						2.4
無回答	24	[Bar chart showing 5.2%]						5.2
全体	462							

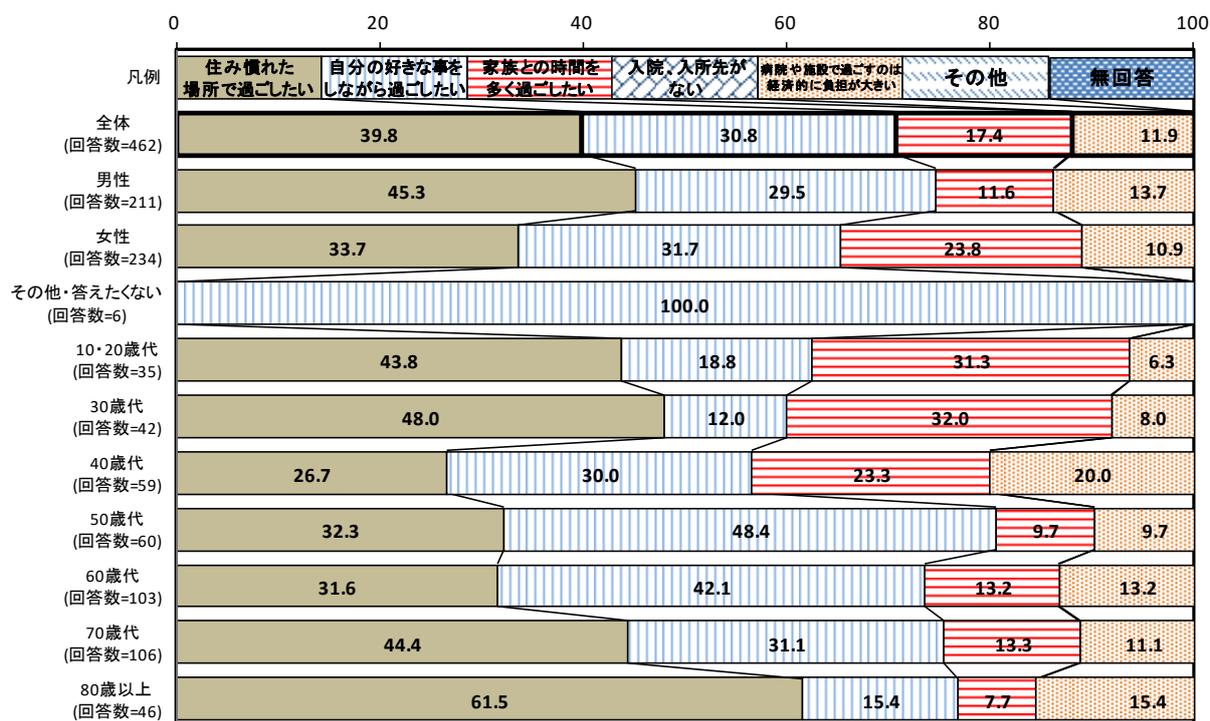


医療と介護が同時に必要となった場合の生活の場は、「自宅（親族や知人の家も含む）」が43.5%と最も多く、次いで「病院」が34.8%、「老人ホームなどの施設」が14.1%となっている。

男女別にみると、『男性』は「自宅（親族や知人の家も含む）」が45.0%、「病院」が33.6%の順となっている。『女性』も「自宅（親族や知人の家も含む）」が43.2%、「病院」が36.3%の順となっている。

問 29-1 自宅を選んだ理由 なぜ、自宅で暮らしたいと思いますか？

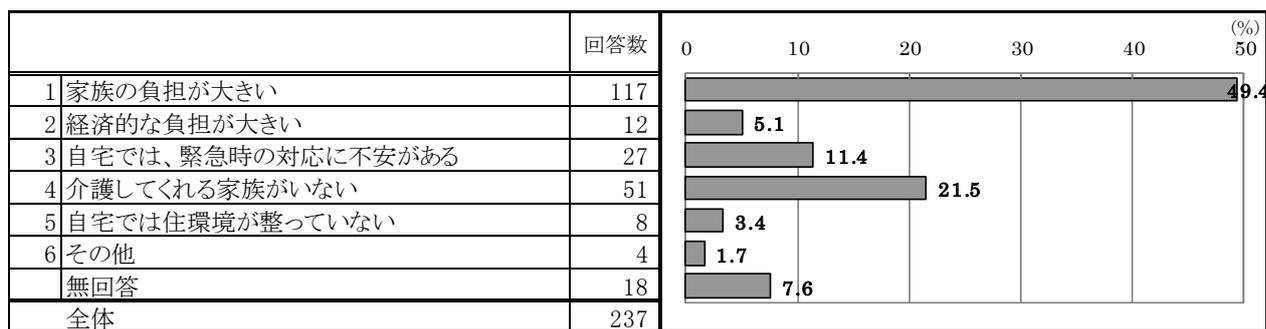
	回答数	0	10	20	30	40	(%)
1 住み慣れた場所で過ごしたい	80	[Bar chart showing 39.8%]					39.8
2 自分の好きな事をしながら過ごしたい	62	[Bar chart showing 30.8%]					30.8
3 家族との時間を多く過ごしたい	35	[Bar chart showing 17.4%]					17.4
4 入院、入所先がない	0	[Bar chart showing 0.0%]					0.0
5 病院や施設で過ごすのは経済的に負担が大きい	24	[Bar chart showing 11.9%]					11.9
6 その他	0	[Bar chart showing 0.0%]					0.0
無回答	0	[Bar chart showing 0.0%]					0.0
全体	201						



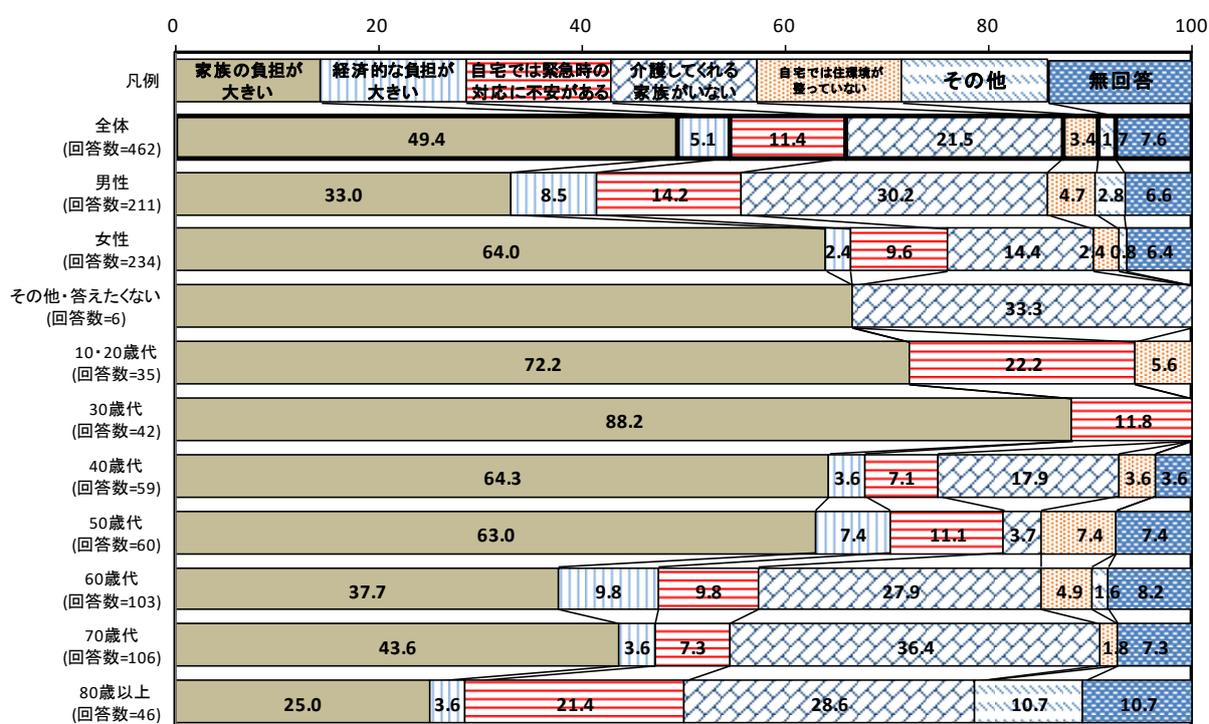
医療と介護が同時に必要となった場合に、自宅を選んだ理由は、「住み慣れた場所で過ごしたい」が 39.8%と最も多く、次いで「自分の好きな事をしながら過ごしたい」が 30.8%、「家族との時間を多く過ごしたい」が 17.4%となっている。

男女別にみると、『男性』は「住み慣れた場所で過ごしたい」が 45.3%、「自分の好きな事をしながら過ごしたい」が 29.5%、「家族との時間を多く過ごしたい」が 11.6%となっている。『女性』は、「住み慣れた場所で過ごしたい」が 33.7%、「自分の好きな事をしながら過ごしたい」が 31.7%、「家族との時間を多く過ごしたい」が 23.8%となっている。

問 29-2 自宅以外を選んだ理由 なぜ、自宅以外の場所で暮らしたいと思いませんか？



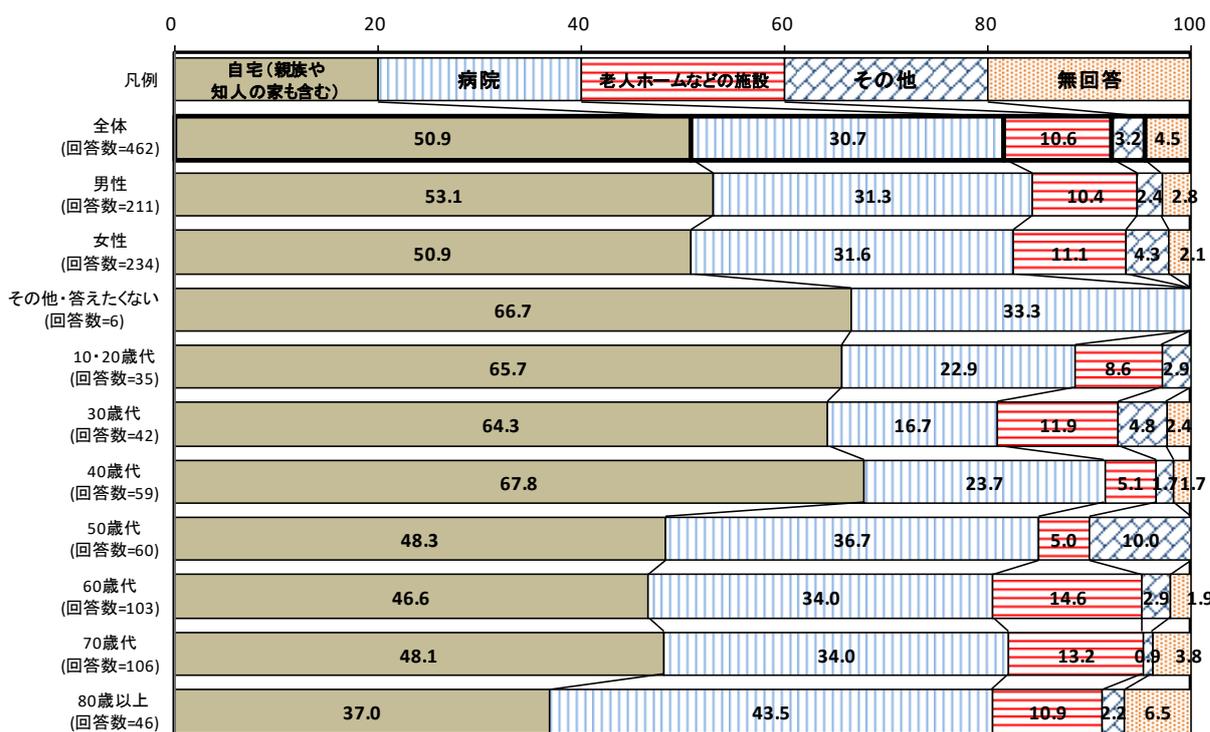
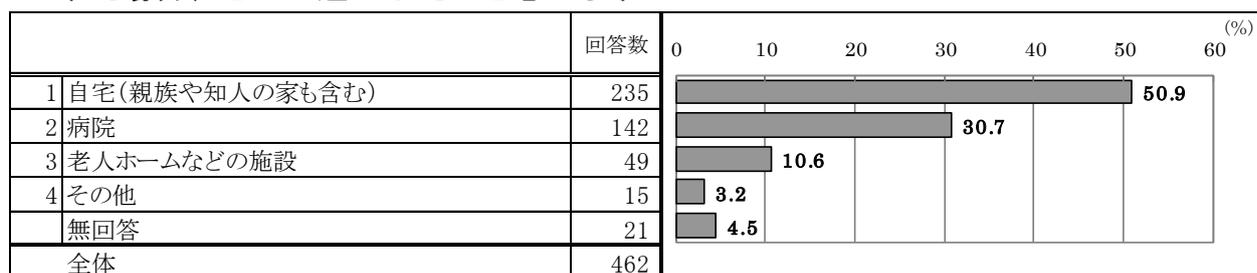
※「その他」の主な内容：生活保護、高齢者、介護人に負担をかけたくない など



医療と介護が同時に必要となった場合に、自宅以外の場所を選んだ理由（複数回答）は、「家族の負担が大きい」が49.4%と最も多く、次いで「介護をしてくれる家族がいない」が21.5%、「自宅では緊急時の対応に不安がある」が11.4%となっている。

男女別にみると、『男性』は「家族の負担が大きい」が33.0%、「介護してくれる家族がいない」が30.2%となっている。『女性』は、「家族の負担が大きい」が64.0%、「介護してくれる家族がいない」が14.4%となっている。

問 30 人生の最期を過ごしたい場所 あなたが病気などで人生の最期を迎える時が来た場合、どこで過ごしたいと思いますか？



人生の最期を迎える場所は、「自宅（親族や知人の家も含む）」が 50.9%と最も多く、次いで、「病院」が 30.7%、「老人ホームなどの施設」が 10.6%となっている。

男女別にみると、『男性』は「自宅（親族や知人の家も含む）」が 53.1%、「病院」が 31.3%の順となっている。『女性』も「自宅（親族や知人の家も含む）」が 50.9%、「病院」が 31.6%の順となっている。

**平成 29 年度 西成区民意識調査（区民モニターアンケート）
報告書**

発行年月 平成 30 年 2 月

発 行 大阪市西成区役所 総務課

〒557-8501 大阪市西成区岸里 1 丁目 5 番 20 号